平成28年 壱 岐 市 議 会 定 例 会 9 月 会 議 会 議 録 (第 1 日)

議事日程 (第 1 号)

平成28年 9 月 2 日 午前10時00分開議

日程第 1	会議録署名議員の指名	8 番 市山 和幸 9 番 田原 輝男	
日程第 2	審議期間の決定	20日間 決定	
日程第 3	諸般の報告	議長 報告	
日程第 4	行政報告	市長 説明	
日程第 5	報告第 9 号	平成 2 7 年度公益財団法人壱岐栽培漁業振興公社に係る経営状況の報告について	農林水産部長 説明
日程第 6	報告第10号	平成 2 7 年度壱岐空港ターミナルビル株式会社に係る経営状況の報告について	総務部長 説明
日程第 7	報告第11号	平成 2 7 年度株式会社壱岐カントリー倶楽部に係る経営状況の報告について	企画振興部長 説明
日程第 8	報告第12号	平成 2 7 年度一般財団法人壱岐市開発公社に係る経営状況の報告について	企画振興部長 説明
日程第 9	報告第13号	平成 2 7 年度壱岐市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	財政課長 説明
日程第10	議案第59号	壱岐市防災行政無線施設条例の廃止について	総務部長 説明
日程第11	議案第60号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	農林水産部長 説明
日程第12	議案第61号	平成 2 8 年度壱岐市一般会計補正予算 (第 4 号)	財政課長 説明
日程第13	議案第62号	平成 2 8 年度壱岐市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 1 号)	保健環境部長 説明
日程第14	議案第63号	平成 2 8 年度壱岐市介護保険事業特別会計補正予算 (第 2 号)	保健環境部長 説明
日程第15	議案第64号	平成 2 8 年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)	建設部長 説明
日程第16	議案第65号	平成 2 8 年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)	建設部長 説明
日程第17	議案第66号	平成 2 8 年度壱岐市農業機械銀行特別会計補正予算 (第 1 号)	農林水産部長 説明
日程第18	認定第 1 号	平成 2 7 年度壱岐市一般会計歳入歳出決算認定について	財政課長 説明

日程第19	認定第2号	平成27年度壱岐市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	保健環境部長	説明
日程第20	認定第3号	平成27年度壱岐市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	保健環境部長	説明
日程第21	認定第4号	平成27年度壱岐市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	保健環境部長	説明
日程第22	認定第5号	平成27年度壱岐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	建設部長	説明
日程第23	認定第6号	平成27年度壱岐市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	建設部長	説明
日程第24	認定第7号	平成27年度壱岐市特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について	市民部長	説明
日程第25	認定第8号	平成27年度壱岐市三島航路事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務部長	説明
日程第26	認定第9号	平成27年度壱岐市農業機械銀行特別会計歳入歳出決算認定について	農林水産部長	説明
日程第27	認定第10号	平成27年度壱岐市水道事業会計決算認定について	建設部長	説明
日程第28	議案第67号	壱岐市教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の制定について	市長	説明・質疑・討論 採決
日程第29	要望第1号	壱岐・唐津30Kmの海底送電線の早期着工の要望		資料のとおり
日程第30	要望第2号	男岳神社駐車場トイレの新設についての要望		資料のとおり

本日の会議に付した事件

(議事日程第1号に同じ)

出席議員 (15名)

1番 赤木 貴尚君	2番 土谷 勇二君
3番 呼子 好君	4番 音嶋 正吾君
6番 町田 正一君	7番 今西 菊乃君
8番 市山 和幸君	9番 田原 輝男君
10番 豊坂 敏文君	11番 中田 恭一君
12番 久間 進君	13番 市山 繁君
14番 牧永 護君	15番 深見 義輝君
16番 鵜瀬 和博君	

欠席議員（1名）

5番 小金丸益明君

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

事務局長 土谷 勝君 事務局次長 吉井 弘二君
事務局係長 若宮 廣祐君

説明のため出席した者の職氏名

市長	白川 博一君	副市長	中原 康壽君
教育長	久保田良和君	総務部長	眞鍋 陽晃君
企画振興部長	左野 健治君	市民部長	堀江 敬治君
保健環境部長	高下 正和君	建設部長	原田憲一郎君
農林水産部長	井戸川由明君	教育次長	山口 信幸君
消防本部消防長	安永 雅博君	総務課長	久間 博喜君
財政課長	中上 良二君	会計管理者	平田恵利子君
監査委員	吉田 泰夫君		

午前10時00分開議

○議長（鶴瀬 和博君） 皆さん、おはようございます。

会議に入る前にあらかじめ御報告いたします。壱岐新聞社ほか2名の方から報道取材のため撮影機材等の使用の申し出があり、許可をいたしておりますので、御了承願います。

今期定例会におきましても、夏の省エネ対策の一環としてクールビズを実施いたします。議場での服装につきましては、上着・ネクタイの着用は各位の判断に任せることとしておりますので、よろしく願います。

小金丸益明議員から欠席の届け出がっております。

ただいまの出席議員は15名であり、定足数に達しております。

ただいまから平成28年壱岐市議会定例会9月議会を開きます。

これより本日の会議を開きます。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（鶴瀬 和博君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

9月会議の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、8番、市山和幸議員、9番、田原輝男議員を指名いたします。

日程第2. 審議期間の決定

○議長（鶴瀬 和博君） 日程第2、審議期間の決定を議題とします。

9月会議の審議期間につきましては、去る8月31日に議会運営委員会が開催され、協議をされておりますので、議会運営副委員長に対し協議結果の報告を求めます。町田議会運営副委員長。

〔議会運営副委員長（町田 正一君） 登壇〕

○議会運営副委員長（町田 正一君） 議会運営委員会の報告をいたします。

平成28年壱岐市議会定例会9月会議の議事運営について協議のため、去る8月31日に議会運営委員会を開催いたしましたので、その結果について報告いたします。

審議期間の日程案につきましては、各議員のお手元に配付しておりますが、本日から9月21日までの20日間と申し合わせをいたしました。

本定例会9月会議に提案されます案件は、報告5件、条例の制定1件、条例の廃止1件、平成28年度補正予算関係6件、決算の認定10件、その他1件、諮問2件の合計26件となっております。また、要望2件を受理しておりますが、お手元に配付のとおりであります。

本日は、審議期間の決定、議長の報告、市長の行政報告の説明を受け、その後、本日送付された議案の上程、説明を行います。

9月5日、6日は休会としておりますが、議案に対する質疑並びに予算、決算に関する発言の通告をされる方は、9月5日月曜日の正午までに通告書の提出をお願いします。

9月7日は、議案に対する質疑を行い、質疑終了後、所管の委員会へ審査付託を行いますが、質疑をされる場合は、できる限り事前通告をされるようお願いいたします。

なお、上程議案のうち、議案第61号平成28年度一般会計補正予算（第4号）及び認定第1号平成27年度壱岐市一般会計歳入歳出決算認定については、特別委員会を設置して審査すべきということを確認いたしましたので、よろしくようお願いいたします。

また、予算及び決算について質疑される場合においても、特別委員長宛てに質疑の通告を提出されるようあわせてお願いいたします。

9月8日、9日の2日間で、一般質問を行います。

9月13日に各常任委員会を開催し、9月14日は予算特別委員会、9月15日、16日は決算特別委員会を開催いたします。

9月20日は、議事整理日として休会し、9月21日に本会議を開催し、各委員長の報告を受

けた後、議案等の審議、採決を行い、全日程を終了したいと思います。

なお、議案第67号壱岐市教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の制定については、委員会付託を省略し、全員審査を行い、質疑終了後に討論、採決を本日お願いいたします。

また、本定例会の審議期間中に、人事案件2件が追加議案として提出される予定ですが、委員会付託を省略し、全員審査を予定しております。

以上が、平成28年壱岐市議会定例会9月会議の審議期間、日提案であります。

円滑な運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます、報告といたします。

〔議会運営副委員長（町田 正一君） 降壇〕

○議長（鶴瀬 和博君） お諮りします。9月会議の審議期間は、議会運営副委員長の報告のとおり、本日から9月21日までの20日間としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鶴瀬 和博君） 異議なしと認めます。よって、9月会議の審議期間は、本日から9月21日までの20日間と決定いたしました。

日程第3. 諸般の報告

○議長（鶴瀬 和博君） 日程第3、諸般の報告を行います。

諸般の報告を申し上げます。

平成28年壱岐市議会定例会9月会議に提出され、受理した議案等は24件、請願・陳情等2件であります。

次に、監査委員より、例月出納検査の報告書が提出されており、その写しをお手元に配付しておりますので、御高覧をお願いします。

次に、系統議長会であります。

去る8月3日、対馬市におきまして開催された長崎県離島振興市町村議会議長会臨時総会、平成28年第1回に出席をいたしました。

会議では、平成28年2月から7月までの会務報告、平成27年度の決算報告が行われ、原案のとおり承認されたところであります。

次に、8月18日、平戸市におきまして開催された平成28年度長崎県市議会議長会臨時総会に出席をいたしました。

会議では、平成28年度前期の事務報告が行われ、各市から提出の21議案及び九州市議会議長会、長崎県13市共同提出の2議案について審議がなされ、それぞれ可決、決定がなされたところであります。

壱岐市議会からは、「クロマグロの産卵期における漁獲制限について」と「離島航路における

海上高速交通体系の維持について」の2議案を提出しております。

翌19日には、長崎県市議会議長会議員研修会が開催され、山梨学院大学教授の江藤俊昭先生をお招きし、「住民自治のための議会改革～その条件とは？」と題した講演が行われました。

以上のとおり系統議長会に関する報告を終わりますが、詳しい資料につきましては、事務局に保管をいたしておりますので、必要な方は御高覧をお願いします。

次に、8月9日、長崎市におきまして開催された長崎県離島三市二町及び佐世保市・西海市議会国境離島特別委員会連絡協議会に今西委員長と私が出席をいたしました。

会議では、連絡協議会規約の決定、国境離島新法に関する要望書の決定がなされたところです。

次に、8月16日、長崎市において開催された長崎県後期高齢者医療広域連合議会定例会に土谷議員が出席をされております。

次に、8月25日から26日にかけて、長崎市で開催された第15回全国病院事業管理者・事務責任者会議に市山繁議員、市山和幸議員が出席をされました。

それぞれの会議の詳しい資料につきましても、事務局に保管をしておりますので、必要な方は御高覧をお願いします。

次に、8月26日開催いたしました壱岐市子ども議会につきましては、市内中学生の代表16名の議員に対して任命書を交付し、「私たちのまちを良くするために」をテーマとし、壱岐市が今後取り組まなければならないさまざまな課題について質問、提言を行うなど、壱岐の将来を見据え考えたすばらしい子ども議会であったと思います。

今後においても、学校を初め、関係機関の御理解と御協力をいただきながら、次回開催に向けて努力していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

今定例会9月会議において、議案等説明のため、白川市長を初め、教育委員会教育長、代表監査委員に説明員として出席を要請をしておりますので、御了承を願います。

以上で、私からの報告を終わります。

日程第4．行政報告

○議長（鶴瀬 和博君） 日程第4、行政報告を行います。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

○市長（白川 博一君） おはようございます。行政報告を申し上げます。

本日ここに、平成28年壱岐市議会定例会9月会議に当たり、前会議から本日までの市政の重要事項及び、今回補正予算に計上した主な内容等について御報告申し上げ、議員皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まず、国境離島新法に係る取り組みについてでございますが、これまで、国への施策提案に向

けて、市民皆様からのアイデア募集を官民一体となって進めてまいりました。今後は、国の基本方針や県による計画策定に向けて、集められたアイデアを具現化するため、去る8月31日に壱岐市国境離島新法協議会を設立いたしました。本協議会は、民間と市議会と市が一体となり、壱岐地域社会を維持するための具体的施策についての協議や、国・県への要望活動などを行っていくことといたしております。

次に、**小中学生の全国大会等での活躍について**でございますが、8月20日に神奈川県の日産スタジアムで開催された「第32回全国小学生陸上競技交流大会」に長崎県代表として出場した渡良小学校の竹下紘夢君が、5年男子の100メートルの部において、13秒49の好記録で4位入賞を果たしております。また、同大会の共通女子走り幅跳びの部に出場した盈科小学校6年生の長岡幸奈さんが、4メートル29センチの記録で17位という好成績を残しました。

また、8月10日から12日に東京体育館等で開催された「ファミリーマートカップ第36回全国日本バレーボール小学生大会」男女混合の部に出場した三島小学校ジュニアバレーボールクラブは、2次予選で惜しくも敗退いたしました。1次予選を2戦2勝とするなど、全国の強豪相手に一步も譲らない活躍を見せてくれました。

さらに、7月2日、3日に大村市で開催された「長崎県スポーツ少年団軟式野球交流大会」で準優勝して、九州大会への出場権を獲得した勝本少年野球クラブが、8月12、13日に鹿児島市で開催された「第36回九州ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会」において素晴らしい活躍を見せ、決勝戦で熊本県のチームに敗れましたが、見事、準優勝に輝いております。

壱岐の将来を担う子供たちの健やかな成長は、私の心からの願いであり、今回の全国大会、九州大会での素晴らしい活躍を大変うれしく思うと同時に、この経験が自信へとつながり、みずから成長させる大きな糧となることを期待いたしております。

離島球児の夢舞台「国土交通大臣杯第9回**全国離島交流中学生野球大会**」通称「離島甲子園」が、去る8月22日から25日まで島根県隠岐の島町で開催されました。壱岐市選抜チームは、第1回戦が不戦勝、第2回戦で北海道奥尻島「青苗・奥尻中学校」に2対1で勝利しましたが、第3回戦で沖縄県「石垣島ぱいーぐるズ」に3対4で惜しくも敗れました。ベスト8にとどまりはしましたが、見事なチームワークですばらしい試合を行ってくれました。

島外との交流機会が少ない全国の離島の中学生が一堂に会する本大会に参加した壱岐市選抜チームは、野球を通じた島と島の交流により、友情を育み、夢と希望と勇気を持つことの大切さを実感できたことと思います。

次に、**NHKラジオ番組「ふるさと自慢うた自慢」の開催について**でございます。壱岐の島ホールの落成20周年を記念し、11月25日にNHK長崎放送局及び本市の主催により、同ホールにおいて壱岐の島ホール落成20周年記念NHKラジオ番組「ふるさと自慢うた自慢」を

開催いたします。

ゲストに、歌手の橋幸夫さんと門倉有希さんをお迎えし、地元の男性と女性の各グループがチーム対抗でふるさと自慢を繰り広げるとともに、カラオケで歌を歌い競い合うという番組内容で、ゲスト歌手2人の歌謡ショーもお楽しみいただきます。放送日は未定であります。全国に壱岐市をPRする絶好の機会でありますので、御決定いただきましたNHK様に心から感謝申し上げます。観覧申し込み等詳細につきましては、既にNHK長崎放送局及び壱岐市ホームページで周知いたしておりますけれども、後日、広報紙等でもお知らせいたします。

次に、**国際交流人口拡大の策としての国際化推進班の新設について**でございます。近年、人流・物流・情報が国境を超えて動くグローバル化が世界的に進展し、各国経済の相互依存度が高まる中、我が国においても、外国人観光客や在留外国人数の増加等、グローバル化の波が押し寄せております。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、今後、外国語教育、国際理解教育、外国との経済・文化交流、地域における国際交流行事など、地域の国際化を推進する必要性が一層高まることが予想されます。本市におきましても、現在、諸外国とのかかわりがふえつつあり、外国人居住者や外国人観光客数も徐々に増加をしております。

一方で、国際交流行事や市民皆様が外国人と交流する機会が限られており、海外における本市の知名度が低いという現実があります。壱岐は、食、自然、歴史・文化遺産等、豊富な観光資源を有しており、インバウンドの増加によって、壱岐の魅力を世界各国へ拡散してもらえらる大きな可能性があるものと考えております。

そのような現状と課題を踏まえ、国際交流業務の受け皿、対外的な業務や対外発信、さらにはグローバル化の漸進的な推進を担う部署を設置することが必要と判断し、9月1日から企画振興部地域振興推進課内に国際化推進班を新設いたしました。

同班は、観光商工課と連携し、インバウンドの強化に関する業務も支援させることといたしております。国際化推進班に発令、または、兼務発令を受けた職員は、笹原副市長の提案により発足した国際化推進チームのメンバーとなっており、可能な限り国際関連業務に従事させることで、当該分野の人材育成も図っていく所存であります。

本市における観光客数を推計する上で参考となる九州郵船とオリエンタルエアブリッジの本年1月から7月末までの乗降客数累計は38万1,295人、対前年比99.6%でありました。4月に発生した熊本地震の影響もあり、5月と6月は対前年比で87%程度まで落ち込みましたが、7月は対前年比で112.4%と急回復しております。この夏の好天もあり、8月の実績を期待しているところでございます。

JR九州の長崎デスティネーションキャンペーンについては、10月1日に長崎駅と博多駅で開催されるオープニングイベントを皮切りに、12月までの期間で実施されます。県内全市町P

Rの相乗効果によるキャンペーン期間中の観光客数の増加に期待しております。

10月20日と21日には、本市において、旅行会社の仕入れ企画造成担当者を対象に年2回開催されている長崎県観光情報説明会が開催されます。関西・中国・四国・九州地区の旅行会社に対し、今回は、平成29年度上期における観光情報説明会となっており、この好機に壱岐の魅力を最大限発信してまいります。

また、新たな取り組みとして、10月8日から9日まで、1泊2日の行程で「サンクチュアリ壱岐」、直訳すると「聖域の壱岐」という意味になりでしょうか、と題したコスプレツアーが実施されます。コスプレイヤーの方々が「実りの島、壱岐」を訪れ、撮影を楽しんでいただくことにより、壱岐の新たな情報発信につながるものと期待をいたしております。

さらに、10月25日には、モンゴル国のビルグーンオンダラガ歌舞団23名による公演を、壱岐の島ホールにて計画をいたしております。今回の公演は、平成26年にモンゴル国と日本の文化交流協定から40周年を迎え、平成27年に元寇に関する撮影が元寇ゆかりの地である壱岐市を初め、日本各地で行われた御縁で今回の公演に至っております。多くの市民皆様に御来場いただきたいと存じます。

観光施設のイルカパークでございますが、平成7年に開園し22年目を迎えております。イルカパークについては、施設が閉鎖的の海域であることから、平成13年にしゅんせつ工事を実施しておりますが、それから15年が経過してございまして、しゅんせつの必要があることから、今回、しゅんせつにかかる所要の予算を計上いたしております。

さて、10月2日開催の壱岐ウルトラマラソンの申し込みは、8月26日に応募を締め切り、福岡県235人、長崎県118人、この中には市民ランナーも20名以上登録されているのではないかと考えておりますけれども、長崎県118人を初め、北は北海道から南は沖縄まで、35都道府県から100キロ385人、50キロ230人、計615人の参加が決定いたしております。ボランティアにつきましては、島外からも48人の応募があっており、現在、市内のボランティアの方も募集をしているところでございます。

また、島内の学生には、小学生に1キロごとに立てる距離表示ののぼり、あと何キロというのぼりでございますが、そののぼりに応援メッセージを、中学生には当日の給水所等の運営のお手伝いを、高校生には参加選手への手紙を書いていただき、選手への激励を行うようにいたしております。

招待選手として、2014年100キロウルトラマラソン世界選手権第2位で長崎県出身の望月千幸選手、若い世代に人気の歌手グループであるソナーポケットのeyeronさんに選手と一緒に走っていただき、大会を盛り上げていただくようにいたしております。

また、前回御報告いたしましたレオパレス21様を初め、富士ゼロックス様、JTB九州様、

大塚製薬様等、多くの企業にも御協賛いただき、さまざまな面で御支援いただいております。

壱岐全島を舞台としたイベントでありますので、市としても大会の成功に向け、万全の体制で取り組んでまいります。関係機関・団体皆様に御理解、御協力をお願いを申し上げます。

ふれあい交流事業につきましては、本年も、壱岐市在住の独身者に対して適切な出会いの機会を創出することにより、成婚を促し、人口減少に歯どめをかけることを目的として、11月5日から6日にかけて「第4回イキイキお結び大作戦」と題して婚活イベントを計画しております。昨年は男性19人、女性18人の参加で、カップル成立数は14組であり、そのうち1組が東京の女性と成婚に至っております。今回も多くのカップルが誕生することを期待をいたしております。

また、市民向けセミナーにつきましては、結婚応援隊向けの内容も計画いたしておりますので、多くの皆様に御参加いただけるよう周知を図ってまいります。

生涯活躍のまち推進プロジェクトについては、元気な中高年齢者の移住を促進することにより、人口減少に歯どめをかけ、地域の活性化を図る、いわゆるCCRC、生涯活躍のまち構想であります。本市も壱岐市版生涯活躍のまちの実現を目指すべく、基本指針、実施計画の策定業務に係る費用を地方創生推進交付金に申請してありましたところ、このたび採択されましたので、今回、所要の予算を計上いたしております。

今後、関係機関に参画いただいた推進協議会を設立し、本市の方向性を示す基本指針と、実現するための詳細計画を載せた実施計画を、関係者の意見を踏まえ策定するようにいたしております。

若い世代の移住施策とともに、生涯活躍のまちについても積極的に取り組む所存であります。

福岡市・九州離島広域連携事業についてでございますが、本年3月に発足した福岡市・九州離島連携協議会ではありますが、去る7月18日に福岡市天神の岩田屋前広場においてキックオフイベントを実施し、本格的に事業を開始しております。

「離島」という字は「離れる」「島」と書き、寂しい感じがいたします。これを、離れる島の「離島」から、訪れた人がR e - f r e s h（元気を回復する）、島に人がR e - t u r n（帰ってくる）、新しい島の未来がR e - b o r n（生まれ変わる）の、「R eの島」と書いて「R e島」を合言葉に「R e島プロジェクト」として事業を実施しており、早速「R e島チャンネル」というホームページを立ち上げ、福岡を起点とした各島への旅行商品の販売を開始いたしております。

また、「R e島ムービー」として各島の「人」に着目した宣伝用映像を作成いたしましたところ、大変好評を得ております。

今後は、各種メディアとタイアップしたPR事業や海外向け広報等も実施することといたして

おります。

次に、**産業の振興**についてでございますが、まず、農業の振興について。ことしは、平年より1日早い梅雨明けとなり、7月14日から8月27日まで45日間ほとんど降雨がなく、農業用ダム・ため池については、貯水率が54.1%となっておりましたが、8月28日から29日にかけて100ミリ程度の降雨がございました。貯水率も改善し、ひとまず安心しております。

きのう発生した台風12号については、雨の欲しい時期ではありますが、農作物や施設への影響を心配しており、十分注意を払っていただきたいと考えております。

こうした中、本年産の葉タバコは、成熟期の天候不順による立ち枯れ病、一部の圃場における原因不明の生育不良等により、10アール当たり210キロの収量見込みと伺っており、10月に葉タバコ収納が予定されております。

水稻につきましては、早期水稻は大きな病虫害被害等もなく、昨年と同程度の収量が見込まれております。普通期水稻は農業用ダム・ため池が十分な貯水率まで回復しておらず、水不足による被害が心配されますので、関係機関連携して管理指導等を行ってまいります。

肉用牛につきましては、去る8月1日、2日に開催された子牛市において、子牛取引価格が市場開設以来の高値を記録しております。平均価格が6月市と比較して、1頭当たり約1万円高の83万3,000円となっており、あわせて去勢の平均価格についても市場開設以来の高値を記録しております。しかしながら、高齢化、後継者不足等による繁殖牛の飼養頭数が減少しておりますので、今後も産地維持のため、繁殖基盤の強化に努めてまいります。

7月発生 of 農地及び施設災害につきましては、10月3日から7日に査定が行われるようになっておりますので、査定後、早急に事務手続を進め、復旧工事に着手してまいります。

水産業の振興につきましては、本年4月から7月までの本市の漁獲量及び漁獲高を昨年と比較いたしますと、漁獲量は1,124トンで15.7%の減、漁獲高は9億6,800万円で17.5%の減となっております。

また、正組合員数は、昨年より30名減の987名となっており、漁獲量、漁獲高ともに減少しております。漁家経営は大変厳しい状況が続いておりますが、水産業の振興を図るため、今後も漁業者の皆様、そして、各漁協を初め関係機関と連携を図り、各種施策に積極的に取り組んでまいります。

今回、県営事業による芦辺漁港、大島漁港、郷ノ浦港、勝本港、印通寺港の整備・改修工事にかかる負担金について、所要の予算を計上をいたしております。

商工業の振興と雇用対策につきましては、7月21日に、昨年に引き続きハローワーク及び県との合同で、高校2、3年生を対象に、卒業後の進路選択の参考と、地元就職を促進することを目的として、合同企業説明会を開催いたしました。昨年は市内5社の企業の参加でありましたが、

本年は、市内9社の企業、生徒32名、保護者17名、合わせて90名の参加があり、第1部では各企業からの説明、第2部では各企業ブースにそれぞれ移動し説明、質疑が行われたところがあります。生徒皆さんからは、企業の内容や生の声が聞けてよかった、保護者皆様からは、今後も続けてもらいたい等の要望もあり、本事業を引き続き実施するとともに、企業への支援等を含め、雇用の確保に全力で取り組んでまいります。

7月30日には、株式会社レオパレス21の壱岐サービスセンターの開所式があり、新たに22名の方が雇用されております。平成19年度に壱岐コールセンターを開設、そして、今回の新たなセンターを開設いただき、雇用促進に多大な御貢献をいただいております。

しま共通地域通貨事業「しまとく通貨」については、10月までは旅行商品に組み込まれるバラ券のみとなっておりますが、11月からはセット券の販売も開始されます。また、10月から電子化されるようになっており、より利便性が高まるものと期待をいたしております。

次に、ねんりんピックの通称で親しまれている**全国健康福祉祭**が、本年10月15日から18日までの4日間、長崎県内15カ所で開催されます。壱岐市におきましては、ウォークラリー交流大会の開催地となっており、10月15日に代表者会議及び開始式、翌16日に交流大会を原の辻遺跡をメインとしたコースで開催します。高齢者の部につきましては、全国から40チーム、200名の参加が決定しております。一般の部については、20チーム、100名程度を予定し、9月15日を申し込み期限に募集しておりますが、現在5チームの申し込みにとどまっておりますので、老人クラブや各種団体に要請し、参加者の確保に努めてまいります。

また、運営に当たっては、関係機関や団体の協力はもちろん、市内の中学生による高齢者の部のチームのアテンダーや高校生によるドリンクサービス、各小学校の児童による激励ポスターの作成などの協力もいただき、壱岐市を挙げて全国からの参加者をおもてなしの心で温かく迎えてまいります。

次に、**幼保連携型認定こども園**についてでございますけれども、幼児教育の質の向上と量の確保を図るとともに、効率的な施設運営を行うため、石田町へ幼保連携型認定こども園を設立いたします。

計画では、予定地を石田保育所の南側にある現テニスコートとしており、石田保育所は保育部分を現行のまま運営し、幼稚園部分を新設するため、敷地整備のための設計及び工事を行うこととしております。

また、本整備工事に伴い、テニスコートを石田中学校校舎裏に移転整備することとしており、今回、所要の予算を計上いたしております。

介護ロボット導入事業についてでございますが、本市においては、3人に1人が高齢者という状況の中で、介護保険事業は制度発足時から比較すると、介護サービス利用者で1.5倍、サー

ビスに係る費用額で1.7倍の伸びとなっており、今後、介護従事者の確保と定着を図る取り組みが急務となっております。

このような状況の中、本事業は、国庫補助事業を活用した介護ロボット（見守り支援ベッドシステム）を市内の介護老人保健施設において導入し、介護従事者の負担の軽減を図るとともに、市内における活用実証モデルとして他の介護サービス事業者への周知と働きやすい職場環境を整備し、介護従事者の確保を図る目的で実施するものであり、今回、所要の予算を計上いたしております。

予防接種事業につきましては、B型肝炎について、少数ながら小児における水平感染や集団感染が報告されていること等から、予防接種によって人から人への感染機会を減らすことを目的に予防接種施行令等の改正が行われ、本年10月から定期予防接種（A類疾病）の対象疾患に追加されたところであります。

対象者につきましては、平成28年4月以降に出生した者で生後1歳に至るまでの間にある者となっております。予防接種を行うことで、伝染の恐れのある疾病の発生及び重症化の防止、さらにはその蔓延を防ぐことで公衆衛生の向上や増進に寄与するものであり、老岐医師会の御協力を得て10月1日から実施するため、今回、所要の予算を計上いたしております。

次に、建設関係でございますが、まず、**道路、河川等の整備**についてでございます。市道整備について、6月補正において道路整備工事に必要な予算を計上いたしましたが、さらなる経済対策の一環として、市道の維持補修工事及び、単独で行っている市道の改良工事等の早期完成を図るため、今回、所要の予算を計上いたしております。

水道水源の現状につきましては、梅雨明け後、雨量計で確認するほどの降雨がない状況が続いておりましたが、8月28日にようやく恵みの雨が降りました。水道水源のダム貯水率は、8月末現在、平均しておおむね87%であり、今のところ余裕がございます。これは、梅雨時期に昨年の約1.3倍の雨が降り込んだことが幸いしているものと考えております。

また、夏場の猛暑続きで藻類の発生を心配しておりましたが、貯水量に余裕があることなどから、例年になく少ない現状であります。

平成25年7月に芦辺地区、また、平成26年7月に沼津柳田地区の給水区域で発生した異臭味の対策につきましては、平成26年度に芦辺浄水場、平成27年度に郷ノ浦浄水場に生物活性炭処理設備を導入し、臭気物質の除去対策を行ってまいりました。

ことしも高温少雨傾向が続いておりますが、異臭味の被害はなく、活性炭処理設備導入の効果があらわれていると捉えております。

今後も、水道水の安定した供給に鋭意努めてまいりますので、市民皆様の大切な水源として、節水への御協力をお願いいたします。

次に、教育関係でございますが、芦辺中学校の校舎建てかえ用地については、さきの6月会議で御報告しておりましたが、より安全で安心して学べる教育環境の視点で、改めて建設予定地の見直しを含めた検討に入ることを教育委員会から報告を受けたところであります。

教育委員会において、芦辺町内の小中学校のPTA、保護者、地域の代表32名による校舎建て替え用地選定委員会を設置するとともに、7月5日から8日にかけて芦辺町内の小中学校7校で説明会を行い、あわせてアンケートを実施しております。

7月26日に開催した校舎建て替え用地選定委員会では、アンケート結果をもとに審議され、用地については、旧那賀中学校とする考えにまとまりました。この審議結果の報告書が、翌27日に教育委員会に提出されましたので、教育委員会は直ちに会議を開き、協議結果が報告されました。その内容については、既にお知らせしておりますが、校舎建てかえ用地は旧那賀中学校とすること、校舎の建設についての検討事項が付記されていたことは御承知のとおりであり、本事業の進め方について、現在、教育委員会と協議を進めております。

旧那賀中学校は、閉校後6年近くになり、普通教室や特別教室等の教材設備の利用停止や、利活用のため一部撤去している実情があります。また、普通教室が4教室不足するため、校舎の増築が必要となりますが、増築のための校地の広さも十分とは言えず、増築した場合は、教室の配置が窮屈になるなど、学習環境には不安が残ります。

このように、校舎の改修を含めた耐震補強工事と増築工事とでは、生徒たちにとって、よりよい教育環境とは言い難い課題も抱えております。生徒たちの学習環境を充実させることを第一義に考え、本事業における校舎の建てかえについては、現校舎を解体、撤去し、校舎を新築することにより、不足する教室数は確保され、教育環境も整備されると判断をいたしております。

議員皆様を初め、市民皆様の御理解を賜りますようお願いいたします。

さて、さきの議会においても議論となっておりました壱岐市立小・中学校消防用設備改修工事に係る入札執行事務並びに、壱岐市立芦辺小学校校舎改築工事設計業務に係る完成払支出負担行為等事務について、その不適正な事務処理により、公共工事に対する信用の失墜と、市民及び学校、議会運営に多大な混乱と影響を及ぼしたことに對しまして、市民皆様に心からお詫びを申し上げます。

今回の件に係る関係職員の処分につきましては、地方公務員法の規定に基づく懲戒処分として、担当係長を減給10分の1の1カ月、当時の課長補佐及び担当課長を減給10分の1の3カ月、教育次長を減給10分の1の2カ月、教育長を減給10分の1の3カ月とする処分決定がなされ、本日付で処分書の交付を行っております。

処分量定の判断につきましては、それぞれの事案について個別に審査し、消防用設備改修工事の入札執行事務については減給10分の1の1カ月、芦辺小学校校舎改築工事設計業務について

減給10分の1の2カ月として、事務の不適正処理及び管理監督責任に対して、それぞれの職務職責により判断し、決定をいたしております。

なお、教育長の給料月額は条例で規定されておりますので、その処分の効力を実施させるため、今回、教育長の給与の特例に関する条例の制定について、議案を提出をいたしております。

このような事案が発生したことに、重ね重ねお詫び申し上げますとともに、今後は市民皆様の信頼を回復するために、再発防止に全力で取り組んでまいります。

次に、**防災、消防・救急**についてでございますが、まず、**防災・防犯**について。7月12日から13日にかけて発生した大雨は、1時間雨量最大で約35ミリ、降り始めからの総雨量は175ミリを記録いたしました。気象庁と県が発表する土砂災害警戒情報等をもとに、勝本町全域と郷ノ浦町沼津地区に避難勧告を発令し、4カ所の避難所に7世帯10名の方が避難されました。今回の避難勧告は、壱岐市で初の発令となりましたが、異常と言える天候が続発している近年の気象状況からすると、今後も大雨等が起こる可能性が高いと考えられます。

市民皆様には、避難勧告等が発令されてから慌てることがないように、日ごろから自宅の立地状況や危険箇所、避難場所の確認等をお願いいたします。

なお、今回の大雨により、道路災害22件、河川災害2件、林地災害28件、農地災害111カ所が発生しておりますが、幸い人的被害は発生しておりません。今後も関係機関と十分連携を図り、災害対策に万全を期してまいります。

また、壱岐市社会福祉協議会と災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定を、8月1日に締結しております。福祉避難所とは、特別な配慮が必要な高齢者や障がい者の方々への体制を整備した避難所のことであり、今後、災害時には必要に応じて、壱岐市社会福祉協議会の各事業所に福祉避難所を設置していただくこととなります。

10月10日には、平成28年度長崎県原子力防災訓練が、本市を含めた県内4市と長崎県、佐賀県、福岡県の3県合同で開催されます。玄海原子力発電所での放射能漏れ事故を想定し、情報収集伝達訓練、災害対策本部設置・運営訓練、緊急時モニタリング訓練、原子力災害医療訓練、広報訓練、住民の避難・誘導訓練、島外への広域避難訓練などを実施する予定となっております。このような実践的な訓練を積み重ねながら、原子力防災対策に関係機関とも連携して取り組んでまいります。

市民皆様におかれましては、あらゆる災害へみずからの備えを行っていただきますとともに、地域における防災力の向上に向け、自主防災組織の結成や育成等について、今後も御理解を賜りますようお願いいたします。

次に、防犯についてですが、特殊詐欺、いわゆる振り込め詐欺等による被害は、全国、県内とも甚大なものとなっており、本市においても、平成26年に1件1,000万円、平成27年に

は3件300万円の被害が発生しております。

また、特殊詐欺の予兆電話も多発しており、高齢者を狙った悪質な犯罪が急増している状況です。このような中、昨年度から壱岐警察署において、電話の発信者に対して通話内容を録音する旨の警告を流す、特殊詐欺被害防止装置100台を貸し出して、被害の防止を図っております。この装置は警察に返却しなければなりません、使用した高齢者の7割が継続して設置を希望しているとのことでございます。

今後、特殊詐欺被害防止装置の普及による詐欺被害の防止とともに、住民の防犯に対する意識高揚を図るため、特殊被害防止対策機器購入費の補助制度を創設することといたしております。

消防・救急についてでございますが、この夏は全国的な猛暑となり、市内で8月末現在、24名の熱中症による患者を救急搬送をいたしております。今後も残暑が厳しいことが予想されますので、市民皆様におかれては、こまめな水分補給を行うなど、体調管理に十分留意していただきますようお願いいたします。

去る8月7日に大村市の長崎県消防学校で開催された「第33回長崎県消防ポンプ操法大会」において、ポンプ車の部で芦辺地区第1分団が県大会11連覇を達成、小型ポンプの部で郷ノ浦地区第7分団2部が準優勝の栄に輝きました。これまで御支援、御声援いただいた議員各位、市民皆様に厚く御礼を申し上げます。

9月9日の「救急の日」には、壱岐医師会を初め、救急医療機関の御協力を得て、救急訓練を実施し、救急医療関係者の連携強化及び意識の高揚を図ってまいります。

次に、**議案関係**について御説明いたします。

本議会に提出した**補正予算**の概要は、一般会計補正総額5億8,497万円、各特別会計の補正総額1億290万5,000円となり、本定例会に提出いたしました一般会計、各特別会計の補正額の合計は6億8,787万5,000円となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は238億276万1,000円で、特別会計につきましては、110億2,555万8,000円となっております。

本日提出いたしました案件の概要は、平成27年度各出資法人の経営状況等にかかる報告4件、平成27年度財政健全化判断比率等の報告1件、条例の制定・廃止にかかる案件2件、新たに生じた土地の確認等の案件1件、予算案件6件、平成27年度各会計決算認定10件であります。

案件の詳細については、担当部長、課長等から説明をさせますので御了承願います。

何とぞ十分な御審議をいただき、適正なる御判断を賜りますようお願い申し上げます。

以上をもちまして、前会議以降の市政の重要事項、また、政策等について申し述べましたが、さまざまな行政課題に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいり所存でありますので、議員各位並びに市民皆様の御理解と御協力を賜りますようお願いを申し上げまして、行政報告とい

たします。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

○議長（鵜瀬 和博君） これで行政報告を終わります。

日程第5. 報告第9号～日程第27. 認定第10号

○議長（鵜瀬 和博君） 日程第5、報告第9号平成27年度公益財団法人壱岐栽培漁業振興公社に係る経営状況の報告についてから日程第27、認定第10号平成27年度壱岐市水道事業会計決算認定についてまで、以上23件を一括議題とします。

ただいま上程しました議案について、報告及び提案理由の説明を求めます。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

○市長（白川 博一君） 本日提出いたしております報告及び議案につきましては、担当部長及び課長に説明をさせますので、よろしくお願いいたします。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

○議長（鵜瀬 和博君） 井戸川農林水産部長。

〔農林水産部長（井戸川由明君） 登壇〕

○農林水産部長（井戸川由明君） 皆さん、おはようございます。報告第9号平成27年度公益財団法人壱岐栽培漁業振興公社に係る経営状況の報告について御説明申し上げます。

平成27年度公益財団法人壱岐栽培漁業振興公社について、地方自治法第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告をいたします。本日の報告でございます。

当法人は、これまでと同様、種苗放流事業を実施いたしております。

2ページ、3ページをお開き願います。2ページは、役員並びに評議員名簿を掲載いたしております。3ページには事業報告でございます。27年度の事業概要は、アワビ種苗4万5,000個を壱岐市栽培センターより購入し、各漁協9,000個ずつ放流をいたしております。

財源の内訳ですが、利息0.28%で、基金運用益196万5,369円、助成金として県から28万円、市から14万円、漁協の負担金として各漁協より2万8,000円の5漁協で14万円となっております。また、法人会計より14万7,631円を振りかえまして、合計267万円3,000円であります。

次に、収支決算について御説明いたします。

6ページ、7ページをお願いいたします。6ページは貸借対照表でございます。資産の部であります。流動資産が19万2,919円、固定資産のうち基本財産が1億円、特定資産が7億円で、資産合計8億19万2,919円でございます。7ページは貸借対照表の内訳を掲載いたしております。

8 ページ、9 ページをお願いいたします。8 ページは、正味財産増減計算書でございます。9 ページの正味財産増減計算書内訳表で説明いたしますと、法人会計としては、普通預金利息と繰越金を財源といたしております。今年度の繰越金は、1 億円を除きますと1 9 万2, 9 1 9 円となります。支出の面で管理費の3 万3, 5 7 0 円は、公益法人研修会旅費及び印紙料等でございます。

1 0 ページ、1 1 ページをお願いいたします。1 0 ページは附属明細書、1 1 ページには財産目録を掲載いたしておりますので、御高覧をお願いいたします。

以上で、報告第9号について説明を終わります。よろしくをお願いいたします。

〔農林水産部長（井戸川由明君） 降壇〕

○議長（鶴瀬 和博君） 眞鍋総務部長。

〔総務部長（眞鍋 陽晃君） 登壇〕

○総務部長（眞鍋 陽晃君） おはようございます。

それでは、報告第10号平成27年度壱岐空港ターミナルビル株式会社に係る経営状況の報告について御説明をいたします。

地方自治法第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告をいたします。本日の提出でございます。

壱岐空港ターミナルビル株式会社につきましては、地方自治法施行令第152条第1項第3号に規定する法人で、経営状況の報告をさしていただくものでございます。

報告書の表紙をおめくりいただきたいと思っております。

1 ページは、庶務報告で、官庁事項及び株主総会の報告でございます。

次に、2 ページ目でございます。（3）の株式でございますが、資本金1, 0 0 0 万円2 万株で、そのうち、4 6 0 万9, 2 0 0 株が壱岐市の出資で、出資比率は4 6 %となっております。

3 ページ目をお開きください。貸借対照表でございますが、資産の部については、流動資産合計4 0 7 万8, 4 5 3 円で、固定資産合計1, 0 6 4 万7, 8 4 0 円で、資産合計は1, 4 7 2 万6, 2 9 3 円となっております。負債の部については、負債合計3 7 万7, 0 0 4 円で、その内訳につきましては、あともって御確認いただきますが、7 ページの主要勘定残高明細書の（4）未払金及び（5）の預り金でございます。資産の部については、株主資本合計1, 4 3 4 万9, 2 8 9 円で、負債純資産合計は、資産合計と同額の1, 4 7 2 万6, 2 9 3 円でございます。

4 ページをお願いいたします。損益計算書でございますが、売上総利益が1 4 3 万2, 4 4 0 円、販売費及び一般管理費1 7 7 万5 2 8 円で、営業利益はマイナスの3 3 万8, 0 8 8 円となっております。その内訳につきましても、あともって御確認をいただきますが、9 ページの営業損益内訳書に記載をしております。営業外収益は、雑収入が2 5 万円で、長崎県空港活性化推進協議会補

助金でございます。受取利息は預金利息の712円を足しまして、営業外収益合計が25万712円となります。経常利益のマイナス8万7,376円から法人税を含めまして、当期純利益がマイナス24万1,376円となります。

次に、5ページ目をお願いいたします。株主資本等変動計算書でございますが、純資産合計の前期末残高1,459万1,000円、当期変動額の合計がマイナス24万1,000円で、当期末残高が1,435万円となっております。

6ページは個別注記表、7ページは主要勘定残高明細書、8ページは固定資産明細表、9ページは営業損益内訳書、最後のページは監査報告書でございます。

以上で、報告第10号平成27年度老岐空港ターミナルビル株式会社に係る経営状況の報告を終わらせていただきます。よろしくをお願いいたします。

〔総務部長（眞鍋 陽晃君） 降壇〕

○議長（鶴瀬 和博君） 左野企画振興部長。

〔企画振興部長（左野 健治君） 登壇〕

○企画振興部長（左野 健治君） 報告第11号及び第12号につきまして御説明させていただきます。

報告第11号平成27年度株式会社老岐カントリー倶楽部に係る経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告いたします。本日の提出でございます。

この報告につきましては、地方自治法施行令第152条第1項第3号に規定する一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社への予算の執行の適正化等を図る観点から、公金をもって資本金等の4分の1以上、2分の1未満の出資をしている法人等について市長の調査等の対象になっており、平成28年6月29日の第33回定時株主総会で報告を受けたところでございます。

内容につきましては、第33期営業報告書を添付いたしております。

1ページをお開き願います。3、当社の経営状況の欄をごらんください。27年度の来場者数は7,063人で、前年比94.3%と減少しており、特に、主要メンバー会員の死亡、長期入院、高齢化に伴い、プレイ回数の減少が影響いたしております。売上高は約342万円減少となり、4,600万円となっております。経営見直し等によりまして、当期の純利益は40万5,617円の黒字計上となっております。

2ページをお開き願います。7番目の従業員構成は、支配人1名、フロント2名、レストラン1名、コース管理7名、合計10名で運営いたしております。

3ページをごらんください。8の会員状況、年会費の関係でございます。①会員状況で、個人会員は668名で、うち島内336名、島外183名、休眠会員149名と、法人会員は146名の、合計で814名となっております。年会費の支払い対象者は194名、払込金額は

127万8,000円でございます。平成27年度の回収率が109.79%となっております。これは、年会費が滞っている方への督促状発送等の回収対策を行ったことによるものでございます。27年度の未納者は44名で、未納額は26万4,000円となっております。現在、納付依頼通知書を発送しているところでございます。

6ページをお開き願います。貸借対照表でございますが、資産の部で、流動資産799万5,684円で、うち未収金400万3,840円となっておりますが、既に入金いたしております。固定資産が5,188万5,802円で、資産合計は5,988万1,486円でございます。

次に、7ページをお開き願います。負債、純資産の部でございますが、流動負債が451万7,459円、固定負債253万3,047円、負債合計は705万506円、純資産の部でございますが、株主資本が5,283万980円で、純資産の合計は同額でございます。負債及び純資産合計は5,988万1,486円でございます。

続きまして、8ページをごらんください。損益計算書でございます。表中段の売上総利益は4,394万5,273円でございます。販売費及び一般管理費は4,427万4,558円で、前年対比96.2%となっております。この詳細につきましては、9ページに掲載いたしております。営業損失額は32万9,285円となっております。営業外収益、特別利益と合わせて、税引き後の当期の純利益が40万5,617円の黒字となっております。

10ページに株主資本等変動計算書、11ページに監査報告書を添付いたしております。

以上で、報告第11号について説明を終わらさせていただきます。

次に、報告第12号について説明いたします。

平成27年度一般財団法人壱岐市開発公社に係る経営状況の報告について、地方自治法第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告します。本日の提出でございます。

この報告につきましては、地方自治法施行令第152条第1項第2号に規定する一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社への予算の執行の適正化を図る観点から、公金をもって資本金の2分の1以上の出資をしている法人等について市長の調査対象となっているところでございます。

経営状況について御説明いたします。

2ページをお開き願います。2ページの利用状況でございますが、表1、利用状況の計の欄のとおりでございます。宿泊者数は8,135名で、前年より432名の増加、休憩者数は1万6,978名で、前年より184名増加となっております。宿泊客の増加は、旅行会社とのタイアップでの成果が繋がっていることによるものでございます。

3ページをごらんください。収支についてでございますが、(1)収入の部で、予算額1億1,270万2,000円に対しまして、決算額1億6,710万847円と1,765万784円

の増、(2)で支出の部では、予算額1億1,263万1,000円に対しまして、決算額1億6,090万6,021円と4,827万5,021円の増、当期計上増減額、いわゆる税引き後の当期の純利益は499万4,926円の黒字となっております。

次に、4ページをごらんください。4ページから6ページは正味財産増減計算書でございます。正味財産増減計算書は、企業の損益計算書に相当するものでございます。6ページの一番下をごらん願います。平成28年度3月31日現在における当一般財団法人の正味財産、いわゆる純資産の期末残高は、合計で(a)で3,004万5,290円となっております。

次に、7ページの貸借対照表でございます。資産の部、合計で4,095万4,290円、負債の部は合計で1,090万9,000円、正味財産の部は合計で3,004万5,290円となっております。

8、9ページに財務諸表に対する注記、10ページに有形固定資産明細書、11ページに監査報告書を添付いたしております。

以上で、説明を終わらせていただきます。

〔企画振興部長(左野 健治君) 降壇〕

○議長(鵜瀬 和博君) ここで暫時休憩をいたします。再開を11時15分といたします。

午前11時03分休憩

.....
午前11時15分再開

○議長(鵜瀬 和博君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案説明を続けます。中上財政課長。

〔財政課長(中上 良二君) 登壇〕

○財政課長(中上 良二君) 報告第13号平成27年度壱岐市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について御説明申し上げます。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により、平成27年度壱岐市財政健全化判断比率及び資金不足比率を監査委員の意見を付して報告いたします。本日の提出でございます。

次のページをお開き願います。法第3条第1項による健全化判断比率の状況ですが、まず、実質赤字比率は一般会計及び農業機械銀行特別会計の実質収支額により算出いたしますが、いずれも黒字決算をしておりますので、実質赤字比率は生じておりません。

次に、連結実質赤字比率は、公営企業以外の国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業、特別養護老人ホーム特別会計と、公営企業の水道事業並びに簡易水道事業、下水道事業、三島航路事業特別会計の全ての会計において、実質収支額が黒字決算をしておりますので、連

結実質赤字比率についても生じておりません。

次に、実質公債費比率ですが、前年度、平成26年度が3カ年平均で5.2%でありましたが、平成27年度は4.7%に、次の将来負担比率については、前年度、平成26年度が16.2%でありましたが、平成27年度は皆減となっております。いずれの比率も前年度指標を下回り、健全に推移しております。前年度の比率を下回った主な要因としては、実質公債費比率が旧壱岐市民病院の長崎県病院企業団加入による病院事業に係る元利償還金が皆減になったこと、また、実質公債費比率は3カ年平均で算出されることから、前年度算定対象でありました平成24年度の単年度実質公債費比率の5.6%が算定から外れ、平成27年度の単年度実質公債費比率4.0%が算定に入ったことなどにより、4.7%まで下がっております。

また、将来負担比率が皆減となった主な要因としては、実質公債費比率と同様、旧壱岐市民病院の長崎県病院企業団加入による病院事業に係る将来負担額が皆減になったこととあわせて、平成20年度から毎年度繰り上げ償還を実施したことによる起債残高の減によるものでございます。

今後、普通交付税の合併算定がえ段階的縮減等により、実質公債費比率及び将来負担比率は上昇していくことが予想されますが、表の中段右側に、イエローカードとなる早期健全化基準及びレッドカードとなる財政再生基準の比率を超えることがないように、財政運営を行ってまいります。

次に、法第22条第1項の規定による資金不足比率の状況ですが、簡易水道事業特別会計、下水道事業特別会計、三島航路事業特別会計、水道事業会計の4つの公営企業会計におきまして、資金不足は生じておりませんので比率はございません。

なお、健全化判断比率等の概要については、資料2の平成27年度各会計決算概要の1ページ、2ページに添付しておりますので御参照願います。

以上で、報告第13号平成27年度壱岐市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について説明を終わります。よろしく願いいたします。

〔財政課長（中上 良二君） 降壇〕

○議長（鵜瀬 和博君） 眞鍋総務部長。

〔総務部長（眞鍋 陽晃君） 登壇〕

○総務部長（眞鍋 陽晃君） 議案第59号壱岐市防災行政無線施設条例の廃止について御説明を申し上げます。

壱岐市防災行政無線施設条例を廃止することについて、地方自治法第96条第1項第1号の規定に基づき、議会の議決を求めるものでございます。本日の提出でございます。

この条例の廃止に至る経過でございます。壱岐市防災行政無線は、旧4町時代にアナログ方式で機器等の整備を行い壱岐市に引き継いだ形で、平成16年3月1日に本条例を施行しておりま

す。災害時等の緊急事項の通報や連絡、また、平常時の行政情報の伝達手段として活用していましたが、光ケーブル網の設置にあわせて、有線告知放送設備を整備したため、各地区に一斉に放送する同報系無線については、平成23年度より運用を停止しております。また、無線機同士で通話する移動系無線につきましては、平成26年度から消防デジタル無線に移行しております。

このように、防災行政無線の機能は他のシステムになっておりますが、無線免許の有効期限は5年間であるため、移動系無線の保管用として有効期限である平成28年5月31日までとしておりましたが、この5月31日の日をもってアナログ無線免許の廃止を行っております。

以上のような経過により、壱岐市防災行政無線施設条例を廃止するものでございます。

以上で、59号の説明を終わらせていただきます。

〔総務部長（眞鍋 陽晃君） 降壇〕

○議長（鶴瀬 和博君） 井戸川農林水産部長。

〔農林水産部長（井戸川由明君） 登壇〕

○農林水産部長（井戸川由明君） 議案第60号あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について御説明申し上げます。

地方自治法第9条の5第1項の規定により、本市内に新たに生じた次の土地を確認し、同法第260条第1項の規定により、字の区域を次のとおり変更する。本日の提出でございます。

提出理由といたしましては、壱岐市郷ノ浦町郷ノ浦字本居地先の郷ノ浦港の公有水面埋め立てにより生じた土地について、議会の議決を得て確認し、字の区域を変更しようとするものであります。

次のページをお開き願います。1といたしましては、壱岐市郷ノ浦町郷ノ浦字本居333番4に隣接する防波堤、334番4及び402番5の地先、面積110.41平方メートル、編入する区域は字本居でございます。次のページに位置図と字図を添付いたしております。土地の利用につきましては、海岸保全施設用地及び港湾施設用地として埋め立てされ、現在、春一番供養塔前の広場となっております。

以上で、議案第60号について説明を終わります。御審議のほどよろしく願います。

〔農林水産部長（井戸川由明君） 降壇〕

○議長（鶴瀬 和博君） 中上財政課長。

〔財政課長（中上 良二君） 登壇〕

○財政課長（中上 良二君） 議案第61号平成28年度壱岐市一般会計補正予算（第4号）について御説明申し上げます。

平成28年度壱岐市の一般会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億8,497万円を

追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ238億276万1,000円とします。第2項は記載のとおりでございます。

地方債の補正、第2条、地方債の変更は、第2表地方債補正による。

本日の提出でございます。

2ページ、3ページには、第1表歳入歳出予算補正の款項の区分の補正額等について、記載のとおりでございます。

次に、4ページ、5ページをお開き願います。第2表地方債補正、1、変更、辺地対策事業債は、限度額2億6,670万円を2億9,990万円に3,320万円を増額しております。イルカパークしゅんせつ工事に充当しております。過疎対策事業債は、ハード分で限度額3億9,330万円を4億180万円に850万円を増額しております。全天候型ゲートボール場建設関連業務に充当しております。

次に、5ページの合併特例債は、限度額9億320万円を9億2,970万円に2,650万円を増額しております。石田幼保連携型認定こども園敷地造成工事並びに認定こども園整備に伴う現石田中学校テニスコートの移転を行う必要があることから、石田中学校施設改修工事としてテニスコートの整備に充当しております。次に、臨時財政対策債は、限度額6億円を5億1,290万円に8,710万円を減額しております。これは、発行可能額の確定によるものでございます。

それでは、事項別明細書により主な内容について御説明をいたします。

10ページ、11ページをお開き願います。歳入について御説明いたします。

10款1項1目の地方交付税は、今回不足する財源について普通交付税2億7,686万9,000円を増額しております。なお、本年度の普通交付税は、合併算定がえ段階的縮減の3年目となり、5割縮減のところではありますが、支所に要する経費の3年目の増額、また平成27年度国勢調査による人口の減はあるものの、人口減少団体の影響を緩和する割り増し措置が拡充されたこと、算定費用の見直し等により、対前年度0.8%減の96億9,166万3,000円に決定しております。

次に、15款2項2目民生費県補助金、重度訪問介護等の利用促進に係る市町支援事業補助金の3,398万2,000円は、障害福祉サービス費における訪問系サービスに係る額が、国庫負担基準を超える部分についての県補助金でございます。その他、民生費、農林水産業費、土木費、教育費補助金、ほかの国・県補助事業について、内示により増減補正をしております。

次に、12ページ、13ページをお開き願います。18款1項1目基金繰入金、合併振興基金繰入金235万8,000円の減額は、当初予算で充当しておりました職業訓練校、松永記念館ほか、2施設の耐震診断業務に対し、国の社会資本整備総合交付金の内示があったことに伴うも

のでございます。

次に、14ページ、15ページをお開き願います。市債につきましては、4ページ、5ページの第2表、地方債補正で説明したとおりでございます。

次に、歳出について説明をいたします。

まず、歳出全般について、今回、人事異動、会計間の異動に伴う職員給与費等の組み替えによる補正を行っております。給与費明細書については、32ページから33ページに記載しておりますので御参照願います。

9月補正の主要事業については、別紙資料1の平成28年度9月補正予算案概要で説明をいたします。

概要の2ページ、3ページをお開き願います。2款1項6目企画費、ふるさと応援寄附金1,191万8,000円の補正は、ふるさと納税の増額を図るため、ふるさと納税マーケティング業務委託として、首都圏、関西圏、九州圏への情報発信とカタログの5,000部の増刷、新聞広告等を行うものでございます。

同じく6目企画費、生涯活躍のまち推進プロジェクト事業1,200万円の補正は、壱岐市版生涯活躍のまちを実現するため、基本指針、実施計画の策定、機運向上セミナーの実施等を取り組むものでございます。

同じく6目企画費、ウェブアプリ開発技能者育成教育事業の2,750万円の減額補正は、地方創生推進交付金の内示に伴う減額を行っております。

次に、4ページ、5ページをお開き願います。3款1項2目社会福祉施設費、全天候型ゲートボール場建設関連業務1,431万1,000円の補正は、特別養護老人ホーム建設に伴い、勝本町ゲートボール場用地を譲渡するため、勝本町かざはやにゲートボール場の代替施設を建設するための測量業務、地質調査等を行うものでございます。

次に、6ページ、7ページをお開き願います。3款2項4目保育所費、石田幼保連携型認定こども園敷地造成工事1,790万6,000円の補正は、石田幼保連携型認定こども園設立のため、その敷地の整備工事を行うものでございます。

次に、5款1項3目農業振興費、新構造改善加速化支援事業729万4,000円の補正は、新規就農者への施設導入支援として、イチゴハウスを整備される新規就農者に対し、事業費1,215万7,000円の県2分の1の607万8,000円と、市10分の1の121万6,000円を補助するものでございます。

次に、8ページ、9ページをお開き願います。5款1項5目農地費、県営事業負担金5,191万9,000円の補正は、壱岐地区農業水利施設保全合理化事業ほか、3地区の県営事業費総額3億1,809万1,000円に対し、それぞれ9%から30%の負担分でございます。

次に、5款3項2目新水産業収益性向上活性化支援事業250万円の補正は、経営改善計画達成に寄与する機器導入事業費500万円に対し、県3分の1の166万6,000円と市の6分の1の83万4,000円を補助するものでございます。

次に、10ページ、11ページをお開き願います。6款1項4目観光費、イルカパークしゅんせつ工事3,630万円の補正は、イルカパークの堆積物の影響により、水質の悪化とイルカの生態に悪影響を及ぼしていることから、堆積物の除去を行うしゅんせつ工事と、それに伴うイルカの移設を行うものでございます。

次に、7款2項2目道路橋梁維持費、市道維持補修工事費の8,420万円及び7款2項3目道路橋梁新設改良費の道路改良事業単独事業の局部改良工事7,080万円の事業費総額1億5,500万円を、市単独の経済対策費として補正しております。

次に、12ページ、13ページをお開き願います。7款2項3目道路橋梁新設改良費の県営道路整備事業負担金2,115万9,000円は、県道渡良初瀬線ほか1路線の事業費総額8,775万円に対し、15%の負担金1,316万3,000円と、農村地域防災減災事業にかかるため池改良工事に伴う市道拡幅分の負担金799万6,000円でございます。

7款4項1目港湾管理費、県営港湾整備事業負担金1,755万5,000円は、郷ノ浦港湾ほか2港湾の事業費総額1億3,221万8,000円に対し、12.5%から25%の負担分でございます。

次に、14ページ、15ページをお開き願います。9款3項1目、石田中学校施設改修工事1,000万円の補正は、歳入の地方債で申し上げましたとおり、現石田中学校テニスコート用地が石田町幼保連携型認定こども園整備の敷地となることから、石田中学校テニスコートを学校敷地内にある旧テニスコートへ移転するため、旧テニスコートの改修を行うものでございます。

次に、11款公債費、地方債元金繰上償還費は、地方財政法第7条の規定により、前年度繰越金を財源に交付税措置に影響のない公営住宅建設事業債ほか19件の繰り上げ償還を行うもので、今回、元金1億4,128万7,000円と繰り上げ償還に伴う補償金613万9,000円を補正しております。

そのほか、主要事業の詳細については、資料2に記載のとおりでございます。

以上で、平成28年度老岐市一般会計補正予算（第4号）について説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

〔財政課長（中上 良二君） 降壇〕

○議長（鶴瀬 和博君） 高下保健環境部長。

〔保健環境部長（高下 正和君） 登壇〕

○保健環境部長（高下 正和君） 議案第62号及び63号を一括して説明をさせていただきます。

議案第62号平成28年度壱岐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について御説明いたします。

平成28年度壱岐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、保険事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,889万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ54億4,137万6,000円、診療施設勘定の歳入歳出それぞれ23万6,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億1,410万8,000円といたします。第2項については、記載のとおりでございます。本日の提出でございます。

2ページ、3ページをお開き願います。第1表歳入歳出補正予算については、記載のとおりでございます。

5ページから7ページには、歳入歳出補正予算事項別明細を記載をいたしております。

8ページ、9ページをお開き願います。2、歳入につきましては、3款1項国庫負担金として1,958万3,000円を増額しております。10款1項繰越金は、前年度からの繰越金3,639万6,000円を増額補正いたしております。

10ページ、11ページをお開き願います。3、歳出、1款1項総務管理費につきましては、納付金の算定システムの改修費等253万2,000円を増額いたしております。3款1項後期高齢者支援金並びに4款1項前期高齢者納付金等につきましては、支援金額が確定しましたので、180万6,000円、9万8,000円をそれぞれ増額いたしております。9款1項基金積立金につきましては、平成30年度から国保財政が県一本化となることから、財政調整基金積立金として5,000万円を増額いたしております。11款1項償還金及び還付加算金につきましては、前年度退職者医療に係る療養給付等交付金の精算に伴う支払基金清算返納金として336万3,000円を増額いたしております。

以上で、議案第62号の説明を終わらせていただきます。御審議のほどよろしく願います。

続きまして、議案第63号平成28年度壱岐市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について御説明いたします。

平成28年度壱岐市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、保険事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,546万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ33億8,283万4,000円、介護サービス事業勘定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ91万7,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2,362万6,000円といた

します。第2項については、記載のとおりでございます。本日の提出でございます。

2ページ、3ページをお開き願います。第1表歳入歳出補正予算額については、記載のとおりでございます。

5ページから7ページには、歳入歳出補正予算事項別明細を記載をいたしております。

8ページ、9ページをお開き願います。2、歳入につきましては、1款1項支払基金交付金といたしまして、前年度の介護給付費交付金の追加交付により431万2,000円を増額補正いたしております。8款繰越金につきましては、前年度繰越金を1,186万5,000円増額をいたしております。

10ページ、11ページをお開き願います。3、歳出、6款1項償還金及び還付加算金につきましては、前年度の国及び県からの介護給付負担金の清算返納金1,597万7,000円を増額補正いたしております。

以上で、議案第63号の説明を終わらせていただきます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

〔保健環境部長（高下 正和君） 降壇〕

○議長（鵜瀬 和博君） 原田建設部長。

〔建設部長（原田憲一郎君） 登壇〕

○建設部長（原田憲一郎君） 議案第64号について御説明いたします。

平成28年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）。平成28年度壱岐市の簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによります。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ109万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10億5,520万3,000円とします。2項は、記載のとおりです。本日の提出です。

8ページをお開きください。2、歳入ですが、4款繰入金の一般会計繰入金を95万2,000円減額し、6款諸収入で工事補償金として205万円を追加しております。

10ページをお開きください。3、歳出ですが、1款総務費の1目一般管理費で106万8,000円を減額し、2目施設管理費に216万6,000円の追加をしております。補正の内容は、職員の異動によります人件費の補正と、市道改良工事に伴う配水管の布設がえ工事を増額しております。別添資料の16ページから17ページに内容を記載しておりますので御参照をお願いいたします。

続きまして、議案第65号について御説明いたします。

平成28年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第1号）。平成28年度壱岐市の下水道事業特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによります。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ220万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億3,278万7,000円とします。2項は、記載のとおりでございます。本日の提出です。

8ページをお開きください。2、歳入ですが、一般会計繰入金として220万円を追加しております。

10ページをお願いします。3、歳出ですが、1款下水道事業費の1目一般管理費で8万5,000円、2款漁業集落排水整備事業費1目一般管理費に211万5,000円の追加をしております。2項1目施設整備費では予算の組み替えをしております。補正の内容は、職員の異動によります人件費の補正をしております。

以上で、説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

〔建設部長（原田憲一郎君） 降壇〕

○議長（鵜瀬 和博君） 井戸川農林水産部長。

〔農林水産部長（井戸川由明君） 登壇〕

○農林水産部長（井戸川由明君） 議案第66号平成28年度壱岐市農業機械銀行特別会計補正予算（第1号）について御説明申し上げます。

平成28年度壱岐市農業機械銀行特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ2,639万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億4,142万2,000円とする。第2項は、記載のとおりでございます。本日の提出でございます。

2ページ、3ページをお開き願います。第1表歳入歳出予算補正、歳入及び歳出の補正の款項の区分の補正予算額等については、記載のとおりでございます。

5ページから7ページは、歳入歳出補正予算事項別明細書の総括を記載いたしております。

8ページ、9ページをお開き願います。まず、歳入について御説明いたします。

3款繰入金2項基金繰入金に減価償却基金繰入金として1,181万1,000円増額補正をいたしております。4款繰越金1項繰越金に前年度繰越金として1,458万4,000円を追加補正をいたしております。

10ページ、11ページをお開き願います。歳出について御説明いたします。

1款総務費1項1目一般管理費に1,985万9,000円を増額補正をいたしております。主な内容につきましては、備品購入費の1,181万2,000円。これは減価償却基金繰入金を財源として、トラクター及びラッピングマシン等の更新による費用を計上いたしております。また、前年度繰越金を財源として、消耗品、燃料費、修繕等をそれぞれ増額補正をいたしております。あわせて、2款基金積立金1項1目減価償却基金積立金に653万6,000円を追加補正をい

たしております。

以上で、議案第66号について説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

〔農林水産部長（井戸川由明君） 降壇〕

○議長（鶴瀬 和博君） 中上財政課長。

〔財政課長（中上 良二君） 登壇〕

○財政課長（中上 良二君） 認定第1号平成27年度壱岐市一般会計歳入歳出決算認定について御説明申し上げます。

平成27年度壱岐市一般会計歳入歳出決算を地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見を付して議会の認定に付するものでございます。本日の提出でございます。

平成27年度各会計決算書一般会計の1ページをお開き願います。平成27年度壱岐市一般会計歳入歳出決算書、歳入合計229億1,108万5,198円、歳出合計223億1,091万6,402円、歳入歳出差引残額6億16万8,796円となっております。決算内容につきましては、2ページ以降に記載をしております。

5ページをお開き願います。歳入決算について、収入未済額の合計欄10億4,193万8,003円のうち、翌年度への繰越明許費に係る国県支出金及び市債等の未収入特定財源7億1,002万5,000円を差し引きますと、実質収入未済額は3億3,191万3,003円となっております。

次に、98ページをお開き願います。実質収支に関する調書でございます。金額は1,000円単位で、歳入歳出差引額6億16万9,000円で、繰越明許費による翌年度へ繰り越すべき財源が3,511万3,000円でございますので、これを差し引いた実質収支額は5億6,505万6,000円となっております。

次に、財産に関する調書でございます。各会計決算書の後に、財産に関する調書を添付しております。財産に関する調書は、平成28年3月31日で決算を行っております。1ページから4ページに公有財産、5ページから6ページに物品、7ページに債権及び基金について、それぞれ27年度中の増減を記載いたしております。

7ページをお開き願います。4、基金、一般会計分の決算年度末現在高を記載しております。平成28年3月末現在103億4,380万7,000円で、前年より10億4,765万9,000円の増となっておりますが、この主な内容は、特別養護老人ホーム事業特別会計の廃止に伴い、特養ホーム事業財政調整基金、同施設整備基金の残をそれぞれ地域福祉基金、老人ホーム事業施設整備基金に積み立てたこと等によるものでございます。

定額運用基金の運用状況は、8ページに記載のとおりでございます。

平成27年度決算は、特に普通建設事業において水産基盤整備事業、経済対策として実施した

市道維持補修事業、また、石田ジョギングコース設置事業などの実施により、対前年度比10.5%、10億5,200万円の増となりました。また、平成26年度より普通交付税の段階的縮減が始まり、平成27年度は段階的縮減の2年目となり、3割縮減のところでございますが、支所に要する経費の2年目の増額、また新たに合併支所の消防費、清掃費の見直しにより、対前年度比0.1%減の97億8,800万円でありました。その他、地方創生に関する各種事業、また合併特例債のソフト分発行残高を活用して合併振興基金へ3億6,500万円の積み立てを行い、後年度の財源を確保するとともに、後年度の財政負担の軽減を図るため、繰上償還1億4,600万円も実施をいたしました。

その他、平成27年度の決算状況及び主要施策成果については、資料2の各会計決算概要の7ページ以降に記載のとおりでございます。

以上で、平成27年度一般会計歳入歳出決算認定について説明を終わります。御審議の上、認定賜りますようよろしくお願いいたします。

〔財政課長（中上 良二君） 降壇〕

○議長（鶴瀬 和博君） ここで暫時休憩をいたします。再開を13時ちょうどといたします。

午前11時53分休憩

.....

午後1時00分再開

○議長（鶴瀬 和博君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案説明を続けます。高下保健環境部長。

〔保健環境部長（高下 正和君） 登壇〕

○保健環境部長（高下 正和君） 認定第2号から第4号まで一括して説明をさせていただきます。

認定第2号平成27年度苓崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について御説明いたします。

平成27年度苓崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算を、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見を付して議会の認定に付するものでございます。本日の提出でございます。

国民健康保険事業特別会計決算書の1ページをお開き願います。国民健康保険事業勘定歳入合計56億6,027万1,971円、歳出合計54億5,983万2,020円、歳入歳出差引残額2億43万9,951円、直営診療施設勘定歳入合計1億1,253万8,059円、歳出合計1億1,017万6,823円、歳入歳出差引残額236万1,236円でございます。

10ページ、11ページをお開き願います。歳入歳出決算事項別明細書でございます。歳入につきましても、1款1項における国民健康保険税の決算の状況は記載のとおりであり、国保税の

収納率は、現年度については医療費給付分、後期高齢者支援分、介護納付分を合わせまして95.3%となっております。前年度は94.66%であり、比較いたしますと0.64%のプラスとなっております。滞納繰越金分については、現年度13.76%、前年度が12.1%であり、1.66%のプラスとなっております。滞納の累計額は2億7,777万897円となっております。

14ページ、15ページをお開き願います。10款1項一般会計繰入金として前年度に引き続きその他繰入金の中で1億151万5,657円の法定外繰り入れを行っております。

歳出につきまして、20ページ、21ページをお開き願います。2款1項の1目から4目までの療養給付費、療養費、2項の高額療養費の支出済額の合計は32億4,420万8,769円あります。昨年度より1億6,814万9,348円の増額となっております。4項の出産育児諸費につきましては40件、葬祭諸費につきましては68件の給付件数となっております。

28ページをお開き願います。実質収支に関する調書は、記載のとおりでございます。

30ページから35ページは、直営診療施設勘定の歳入歳出決算事項別明細書でございます。公設民営で運営をいたしております勝本、湯本診療所に係るものでございます。

以上で、認定第2号について説明を終わらせていただきます。

続きまして、認定第3号平成27年度壱岐市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について御説明いたします。

平成27年度壱岐市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算を、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見を付して議会の認定に付するものでございます。本日の提出でございます。

後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算書の1ページをお開き願います。歳入合計3億255万7,890円、歳出合計3億54万6,241円、歳入歳出差引残額201万1,649円でございます。

6ページ、7ページをお開き願います。歳入歳出決算事項別明細書でございます。歳入につきましては、1款1項における後期高齢者医療保険の決算の状況は記載のとおりであり、保険料の収納率は、現年度分については特別徴収、普通徴収合わせて99.39%となっております。前年度は99.76%であり、比較しますと0.37%のマイナスとなっております。滞納繰越分につきましては、24.72%の収納率となっております。滞納の累計額は257万690円あります。

10ページ、11ページをお開き願います。歳出でございますが、2款広域連合納付金2億9,763万5,891円の内訳につきましては、保険料が1億5,637万8,284円、保険基盤安定分1億2,995万7,523円、共通経費負担分1,130万84円となっております。

以上で、認定第3号について説明を終わらせていただきます。

続きまして、認定第4号平成27年度老崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について御説明いたします。

平成27年度老崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算を、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見を付して議会の認定に付するものでございます。本日の提出でございます。

介護保険事業特別会計歳入歳出決算書の1ページをお開き願います。介護保険事業勘定歳入合計32億3,467万63円、歳出合計31億8,955万505円、歳入歳出差引残額4,511万9,558円でございます。

続きまして、介護保険サービス事業勘定歳入合計2,702万7,647円、歳出合計1,680万4,389円、歳入歳出差引残額1,022万3,258円でございます。

10ページ、11ページをお開き願います。歳入歳出決算事項別明細書でございます。歳入につきましては、1款1項における介護保険料の決算の状況は、記載のとおりでございます。保険料の徴収率は、現年度分につきましては、特別徴収、普通徴収を合わせまして98.79%となっております。前年度は98.6%であり、比較しますと0.19%のプラスとなっております。滞納繰越分につきましては、6.03%の収納率となっており、滞納の累計額は4,282万7,488円となっております。

14ページ、15ページをお開き願います。歳出でございますが、2款介護給付の支出済額は30億4,027万200円であり、介護認定者の増加や特別養護老人ホームの60床の開設により、昨年度より8,890万2,689円の増加となっております。

22ページ、23ページをお開きを願います。この介護サービス事業勘定の決算は、地域包括支援センターの設置による居宅支援サービス計画書の作成に係るものでございます。

24ページ、25ページをお開きをお願いします。歳出は、1款、2款ともそれに伴う嘱託及び臨時職員の人件費等となっております。

以上で、認定第4号について説明を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。

〔保健環境部長（高下 正和君） 降壇〕

○議長（鵜瀬 和博君） 原田建設部長。

〔建設部長（原田憲一郎君） 登壇〕

○建設部長（原田憲一郎君） 認定第5号平成27年度老崎市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について御説明いたします。

平成27年度老崎市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算を、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見を付して議会の認定に付するものでございます。本日の提出です。

決算書の1ページをお開きください。歳入合計8億6,566万3,745円、歳出合計8億6,344万945円、歳入歳出差引残額は222万2,800円です。

次に、2ページから3ページをお開きください。歳入の部でございますが、予算現額の合計が8億8,395万4,600円に対し、収入済額の合計が8億6,566万3,745円となっております。

次に、4から5ページをお開きください。歳出を記載しております。予算現額の合計が8億8,395万4,600円に対し、支出済額の合計が8億6,344万945円となっております。

次に、6から7ページをお願いします。事項別明細書の歳入の部でございますが、ここで2款の使用料及び手数料についてですが、1目の簡易水道使用料、水道料金でございますが、調定額が4億3,731万9,650円に対し、収入済額が3億9,936万1,460円となっております。その内訳としまして、現年度分調定額が4億69万9,460円に対し、収入済額が3億9,490万8,270円です。滞納繰越分調定額が3,662万190円に対し、収入済額が445万3,190円となっております。収納率で申しますと、現年度分が98.55%となりまして、昨年度より0.12%減少しております。滞納分については12.16%となりまして、昨年より4.34%増加しております。

10から13ページには、事項別明細書の歳出の部について、1款から4款までを記載しております。14ページには、実質収支に関する調書を記載しております。

以上で、認定5号についての説明を終わります。

続きまして、認定第6号平成27年度壱岐市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について。

平成27年度壱岐市下水道事業特別会計歳入歳出決算を、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見を付して議会の認定に付するものでございます。本日の提出です。

決算書の1ページをお願いします。歳入合計4億5,700万4,466円、歳出合計4億5,667万9,752円、歳入歳出差引残額は32万4,714円となっております。

2から3ページをお願いします。歳入を記載しております。予算現額の合計が4億9,839万9,000円に対し、収入済額の合計が4億5,700万4,466円となっております。

次に、4から5ページをお願いします。歳出を記載しております。予算現額が4億9,839万9,000円に対し、支出済額が4億5,667万9,752円となっております。

次に、6から7ページをお願いします。決算の部の事項別明細書の歳入でございます。2款の使用料及び手数料で、1目の下水道使用料としまして、調定額が5,602万1,730円、収入済額が5,503万8,330円です。その内訳としまして、現年度分調定額が5,513万4,400円、収入済額が5,480万2,380円、滞納繰越分調定額が88万7,330円に対

し、収入済額が23万5,950円となっております。収納率で申しますと、現年度分が99.4%、昨年より0.26%増加しております。滞納分は26.59%となりまして、昨年より15.7%増加しております。

10から15ページには、事項別明細書の歳出について、1款から3款までを記載しております。16ページには、実質収支に関する調書を記載しております。

以上で、認定第6号の説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

〔建設部長（原田憲一郎君） 降壇〕

○議長（鶴瀬 和博君） 堀江市民部長。

〔市民部長（堀江 敬治君） 登壇〕

○市民部長（堀江 敬治君） 認定第7号平成27年度壱岐市特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について御説明を申し上げます。

平成27年度壱岐市特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算を、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見を付して議会の認定に付するものでございます。本日の提出でございます。

本特別会計は、平成27年10月1日より特別養護老人ホームを民営化したことに伴い、平成27年度をもって廃止となっております。したがって、平成27年4月から9月までの施設運営と、これまで特別会計の収益をもって積み立ててまいりました基金の整理をいたしております。

決算書の1ページをお開き願います。歳入の合計8億1,367万1,926円、歳出の合計7億4,121万4,094円、差引残額が7,245万7,832円となっております。この残額につきましては、平成28年度一般会計で受け入れを処理しております。

次に、6ページから7ページをお開き願います。事項別明細書でございます。まず、歳入の主なものでございますが、1款介護サービス収入1項1目介護サービス費の1億8,501万252円ですが、これは施設介護サービス、短期入所者介護サービス、通所介護サービスに係る長崎県国保連合会からの収入でございます。また、2目利用者負担金収入の3,130万1,345円ですが、各サービスの利用者負担金でございます。

次に、7款繰入金1目基金繰入金の5億5,200万651円ですが、老人福祉施設整備基金及び財政調整基金からの繰入金でございます。なお、この繰入金につきましては、同額を一般会計へ繰り出し、老人ホーム施設整備基金及び地域福祉基金へ積み立てております。

次に、10ページから11ページをお開き願います。歳出の主なものでございますが、1款介護サービス事業費全体で7億4,107万7,887円であります。その中で、1項施設介護サービス事業費で9,795万2,701円の不用額が生じておりますが、この主なものは、介護員等

臨時職員の半年分の人件費等でございます。なお、正規職員及び嘱託職員については、3月補正にて減額をいたしております。

最後に、14ページをお開き願います。実質収支に関する調書でございます。歳入歳出差し引きいたしまして、実質収支額は7,245万8,000円でございます。

以上で、認定第7号についての説明を終わります。御審議のほどよろしく願います。

〔市民部長（堀江 敬治君） 降壇〕

○議長（鵜瀬 和博君） 眞鍋総務部長。

〔総務部長（眞鍋 陽晃君） 登壇〕

○総務部長（眞鍋 陽晃君） 認定第8号平成27年度壱岐市三島航路事業特別会計歳入歳出決算認定について御説明を申し上げます。

平成27年度壱岐市三島航路事業特別会計歳入歳出決算を、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見を付して議会の認定に付するものでございます。本日の提出でございます。

決算書の1ページをお願いいたします。歳入合計でございますが1億2,492万8,611円、歳出合計は歳入と同額でございます。歳入歳出差引残額はゼロでございます。

2ページ、3ページをお願いいたします。歳入でございますが、予算現額は1億3,417万1,000円、収入済額は1億2,492万8,611円でございます。

4ページ、5ページをお開きください。歳出でございますが、予算現額は1億3,417万1,000円、支出済額は1億2,492万8,611円でございます。

次に、6ページ、7ページをお願いします。歳入歳出決算の事項別明細書でございますが、1款の使用料および手数料でございますが、収入済額2,315万3,796円となっております。平成27年度の乗船客数などでございますが、乗客が5万9,782人、また車両が1,099台で、平成26年度に対しまして、乗客は1,351人の減、車両は279台の増でございます。主な理由でございますが、過年度と比較しまして、三島における公共事業の増加に伴い、工事車両の輸送分の使用料が増加しましたが、島内の人口については年々減少しておりまして、フェリーみしまの利用は減少をしております。

2款の国庫支出金でございますが、予算現額の4,941万6,000円に対し、収入済額が4,941万6,067円となっております。国庫補助金の算定に当たっては、実質収支差見込額に効率化係数を乗じた額を補助対象経費として、その2分の1が補助される標準的な事業経費等を前提とした事前算定方式となっております。

3款県支出金でございますが、予算現額1,378万6,000円に対し、収入済額1,179万6,489円で、198万9,511円の減となっております。県補助金の算定に当

たりましては、実質収支差見込額から国の補助金を控除した2分の1の額となります。

次に、27年度の繰入金は、予算現額5,008万1,000円に対し、収入済額が4,046万9,261円となっております、961万1,739円の減となります。

次に、前年度繰越金及び預金利子については、該当がございません。

雑入でございますが、予算額9万7,000円に対し、収入済額9万2,998円でございます。これは公衆電話使用料、自動販売機設置料に係る雑入金収入であります。

歳出につきましては、8ページから9ページに記載をいたしております。1款運航費1項運航管理費1目一般管理費13節の委託料141万8,701円ですが、これは主に乗船券等販売委託料及び待合所施設管理業務の費用でございます。1款運航費1項運航管理費2目業務管理費の11節需用費3,180万4,737円の内訳で主なものは、燃料費1,391万7,490円、修繕料1,759万4,561円です。燃料費は、年間15万6,000キロリットルの消費量に対する費用でございます。修繕料につきましては、中間検査費用、ドック費用、機関部の小修繕の費用でございます。13節委託料432万円は、陸上作業業務の委託料、フェリーの綱とりの委託費及びフェリーみしまにおけるガソリン輸送に係る改修設計業務委託費でございます。ガソリン輸送につきましては、車両甲板倉庫を利用して、認可用機での輸送を計画しております。現在、車両甲板倉庫の改修は完了しておりますが、今後、防爆用通風器の設置が完了し次第、運輸局への認可申請を進めてまいりたいと思っております。

10ページをお開きください。実質収支に関する調書でございます。歳入歳出いずれも1億2,492万8,000円となっております、歳入歳出差引額はゼロ円になります。

以上で、認定第8号平成27年度壱岐市三島航路事業特別会計歳入歳出決算認定につきまして説明を終わらせていただきます。御審議の上、認定いただきますようよろしくお願いをいたします。

〔総務部長（眞鍋 陽晃君） 降壇〕

○議長（鵜瀬 和博君） 井戸川農林水産部長。

〔農林水産部長（井戸川由明君） 登壇〕

○農林水産部長（井戸川由明君） 認定第9号平成27年度壱岐市農業機械銀行特別会計歳入歳出決算認定について御説明申し上げます。

平成27年度壱岐市農業機械銀行特別会計歳入歳出決算を、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見を付して議会の認定に付するものでございます。本日の提出でございます。

1ページをお開き願います。歳入歳出決算書でございます。歳入合計1億4,427万4,807円、歳出合計1億2,968万9,492円、歳入歳出決差引残額1,458万

5,315円でございます。

2ページ、3ページをお願いいたします。歳入でございますが、予算現額は1億4,619万5,000円に対しまして、収入済額1億4,427万4,807円でございます。

4ページ、5ページをお開き願います。歳出でございますが、予算現額1億4,619万5,000円に対しまして、支出済額1億2,968万9,492円でございます。

次に、6ページ、7ページをお開き願います。歳入歳出決算事項別明細書でございます。まず、歳入の部でございますが、1款使用料及び手数料1項1目機械使用料であります。調定額6,604万4,961円に対しまして、収入済額6,593万6,743円であり、収入未済額は10万8,218円でございます。収納率で申しますと、99.8%でございます。

3款繰入金1項1目一般会計繰入金につきましては、一般会計より400万3,000円の繰り入れを行っております。また、2項1目減価償却基金繰入金につきましては、トラクター等の購入のため576万6,120円の基金繰り入れを行っております。4款繰越金につきましては1,945万4,269円、平成26年度の決算残額を繰入金といたしております。5款諸収入2項1目雑入28万8,977円につきましては、雇用保険料の個人負担分25万2,577円、コイン式洗浄機使用料の3万6,400円でございます。また、3項1目受託事業収入4,882万5,698円になっております。収入合計1億4,427万4,807円でございます。

8ページ、9ページをお開き願います。次に、歳出でございますが、1款総務費1項1目一般管理費に1億2,192万8,492円、2款基金積立金1項1目減価償却基金積立金として776万1,000円の積み立てを行っております。支出合計といたしましては、1億2,968万9,492円でございます。

次に、10ページをお願いします。実質収支に関する調書であります。歳入歳出差し引きまして、実質収支額は1,458万5,000円でございます。

以上、認定第9号について説明を終わります。よろしくお願ひ申し上げます。

〔農林水産部長（井戸川由明君） 降壇〕

○議長（鵜瀬 和博君） 原田建設部長。

〔建設部長（原田憲一郎君） 登壇〕

○建設部長（原田憲一郎君） 認定第10号平成27年度壱岐市水道事業会計決算認定について御説明申し上げます。

地方公営企業法第30条第4項の規定に基づき、平成27年度壱岐市水道事業会計決算を別紙監査委員の意見を付して議会の認定に付するものです。本日の提出です。

決算報告書の2ページをお開きください。収益的収入及び支出についてですが、第1款の水道事業収益としまして、予算額が1億8,739万1,000円、決算額が1億7,957万

4,796円となっております。

次に、支出ですが、第1款の水道事業費用の予算額が1億6,064万1,000円、決算額が1億6,026万1,043円となっております。

4から5ページをごらんください。資本的収入及び支出ですが、第1款の資本的収入としまして、予算額251万4,000円に対しまして、決算額が251万4,065円となっております。これは、道路改良工事などによります工事負担金を収入として計上しております。

次に、資本的支出としまして、予算額が3,035万5,000円に対しまして、決算額が3,018万4,477円、不用額が17万4,553円となっております。この不用額は、建設工事などの入札執行残でございます。

続きまして、6ページをお願いします。損益計算書です。営業収益が1億4,117万5,220円、営業費用が1億4,498万4,073円、営業損失が380万8,853円、営業外収益が2,716万7,116円、営業外費用が497万5,910円、経常利益は1,838万2,353円となっております。当年度純利益は1,838万2,353円となりましたので、当年度末処分利益剰余金は1,838万2,353円でございます。

8から9ページをお願いします。剰余金計算書、10ページには剰余金処分計算書、12から13ページには貸借対照表、15ページからは事業報告書などを記載しております。

水道料金の収納率は、現年度分が97.09%となり、昨年より0.6%増加しております。また、滞納分については10.36%で、前年度より0.16%減となっておりますので、引き続き徴収対策の強化に努めてまいります。

以上で、説明を終わります。

〔建設部長（原田憲一郎君） 降壇〕

○議長（鵜瀬 和博君） ここで監査委員より財政健全化判断比率及び資金不足比率審査と決算審査の報告を求めます。吉田代表監査委員。

〔代表監査委員（吉田 泰夫君） 登壇〕

○代表監査委員（吉田 泰夫君） それでは、決算審査の報告をいたします。

平成27年度壱岐市各会計決算関係及び公営企業、これは水道事業会計の決算、基金運用状況並びに財政健全化判断比率、資金不足比率について、市長より提出を受けました決算書類に基づき審査を実施いたしました。その結果の意見書を提出をいたしましたので、その内容について御報告をいたします。

なお、意見書の数値は決算書決算統計数値により、また、審査の概要など記載しておりますので、意見書のほうをお目通しをいただければと思います。なお、意見書はそれぞれの日程の報告、認定の後ろに添付してありますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、議案日程の順序に従いまして、最初に、報告第13号平成27年度壱岐市財政健全化判断比率及び資金不足比率について、意見書の2ページをお開きを願いたいと思います。

第3の審査意見として述べております。実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率のいずれにおきましても、早期健全化基準を下回った数字でございます。また、資金不足もなく、平成27年度における本市の財政状態は良好であると判断することができます。

なお、先ほど説明にありましたように、この要因としては、病院事業が長崎県病院企業団に移譲されたことによります将来負担、あるいは、公債比率等が減少したというのが主な要因でございますが、下にご書いておりますように、今後は普通交付税等の関連、そして、合併特例債等の償還がまいりますので、将来的には公債比率等の上昇が懸念されるという内容も含んでおられると思われれます。

次に、認定第1号から第9号関係の平成27年度壱岐市一般会計各特別会計決算及び基金運用状況について、意見書の54ページをお開きをいただきたいと思ひます。

第5、審査意見といたしまして、審査に付された各会計歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び基金運用状況調書は、法令等に準拠して作成されており、決算係数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合の結果、適正に表示されているものと認められます。

なお、財産に関する調書で、(2)の債権の中の災害援護資金貸付金1件、高等学校奨学資金貸付金2件は、長期の固定化となっておりますので、回収に努力をお願いします。

次に、基金運用状況調書の中で、災害資金貸付金、奨学資金運用基金に償還金の延滞が発生しているため、これについても回収に努力をお願いしたい。

また、次のとおり事務等の執行につきまして、一部不適正な処理が見受けられましたので、改善整備に努めていただきたいということで。

1、工事施工に伴う事務手続についてと。(1)です。芦辺小学校校舎改築工事設計業務委託で、平成28年3月末までの契約、これ契約変更分を含む期間でございます、となっていたが、建築確認申請は4月11日になされ、建築許可がおりるものとして完成検査調書が作成するなど、また、県よりの手直し事項も指示されている中、手続が完了する前に設計業務管理委託料の支払いがなされるなど、極めて不適切な処理となっております。今後は的確な事務処理の励行、不測の事態への対応など、適切な業務処理の徹底を図るよう、改善整備を図っていただきたいと思ひます。

(2)壱岐市小中学校消防設備工事改修工事で、業者1社の参考見積もりを徴求し、工事設計書を作成し入札が行われておりますが、入札の結果、入札価格に大幅な価格差が発生しているという状況でございます。今後は建設課等の専門知識の職員の協力及び参考見積書の徴求方法、業者の選定等について検討の上、より適正な入札等が行われるよう改善を図っていただきたいと思ひます。

います。

2、未収金につきましては、収入未済額6億9,812万円、前年度より2,800万円ほど減となっておりますが、不納欠損もございますので、より回収に努めていただいて債権の健全化を図っていただきたいと思ひます。

3番目に、財政状況は次のとおりであり、地方税交付金を含め、市税等の自主財源の確保などに対策を進める必要があるということで述べておりますが、財政力指数、経営収支比率等につきましては、前年とほとんど変わりはありませんので、今後も財政力の強化に努めていただきたいという内容でございます。

次に、認定第10号の壱岐市水道事業会計決算、公営企業会計の意見書の3ページをお開きを願ひたいと思ひます。

第4の審査意見、審査に付された決算報告書、財務諸表及び決算附属書類は、法例及び公営企業会計基準の原則に従って適正に表示されているものと認められます。

2の水道料金未収金につきましては、994件、4,218万9,000円、このうちの未納額は、10万円以上が87件、3,568万円となっておりますので、回収努力をしていただくとともに、債権の健全化に努めていただきたいと思ひます。

以上で、決算審査の報告を終了いたします。

〔代表監査委員（吉田 泰夫君） 降壇〕

日程第28、議案第67号

○議長（鵜瀬 和博君） 日程第28、議案第67号壱岐市教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の制定についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

○市長（白川 博一君） 議案第67号壱岐市教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の制定についてを御説明を申し上げます。

壱岐市教育委員会教育長の給与の特例に関する条例を別紙のとおり定める。本日の提出でございます。

提案理由でございますが、壱岐市立小中学校消防用設備改修工事に係る入札執行事務不適正処理及び、壱岐市立芦辺小学校校舎改築工事設計業務に係る完成払い支出負担行為等、事務不適正処理に伴い、その一連の事務処理の不手際に関し、教育委員会事務局を統括し職員を指揮監督する立場にある教育長の責任を明確にするために、地方公務員法第29条第1項第2号の規定による懲戒処分として、教育長の現行の給料を3カ月間10分の1に減額するものであります。

処分決定に至ります経過といたしましては、当該事案が懲戒処分に該当すると思われたことから、壱岐市教育委員会より壱岐市文言懲戒審査委員会に対して、処分についての諮問がなされました。7月16日に壱岐市立小中学校消防用設備改修工事に係る入札執行事務不適正処理についての諮問を、8月8日に壱岐市立芦辺小学校校舎改築工事設計業務に係る完成払い支出負担行為等事務不適正処理についての諮問がなされ、壱岐市文言懲戒審査委員会は8月22日審査、同日、教育委員会及び壱岐市長に対して処分案を答申。これを受けまして、壱岐市教育委員会及び壱岐市長による処分決定を行ったところであります。対象職員に対する処分につきましては、現在のそれぞれの所属に従い、壱岐市教育委員会教育委員長及び壱岐市長から、本日、午前8時40分に処分書の交付を行い、再発防止に万全を期すよう指導したところであります。

なお、教育長への処分として、給料の減額を決定しておりますが、教育長の給料月額が条例で規定されておりますことから、その処分の効力を実施させるため、今回、教育長の給与の特例に関する条例の制定をお願いするものであります。

また、現教育長が地方公務員法の適用を受けることにつきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行前から在職する現教育長について、現在、経過措置の適用を受けておりますことから、懲戒処分を行うときは、改正前の法律第22条により地方公務員法の定めるところによるとされているところであります。この解釈につきましては、文部科学省に確認済みであります。

次に、処分量定の判断につきましては、消防設備工事改修工事の入札執行事務と芦辺小学校改築工事設計業務と、2つの事案を対象としておりまして、どちらも事務処理不適正に伴う教育委員会部局のトップとしての管理監督責任を問い、処分内訳的には、消防設備改修工事の入札執行事務について減給10分の1の1カ月、芦辺小学校校舎改築工事設計業務について減給10分の1の2カ月と判断し、合計減給10分の1の3カ月としたところであります。

それでは、条例の説明をいたします。

次のページをお開きください。第1条、この条例は、壱岐市教育委員会教育長の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例附則第2項の規定により、なお、その効力を有するものとされる同条例による改正前の壱岐市教育委員会教育長の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する条例に規定する教育長の給与の特例に関し、必要な事項を定めるものとする。

第2条、教育長の給与の額は、平成28年10月から平成28年12月までの間にかかるものに限り、旧壱岐市教育委員会教育長の給与、勤務時間、その他の勤務条件に該当する条例第3条の規定にかかわらず、同条に規定する額から当該額に100分の10を乗じて得た額を減じた額とする。現行の給料月額が57万6,000円、その10分の1は5万7,600円でございます。

附則といたしまして、この条例は平成28年9月2日から施行しようとするものでございます。

今回は、教育委員会部局でこのような事案が発生したわけですが、繰り返し起こる事態について重く受けとめ、深くお詫びを申し上げる次第でございます。また、市民皆様の信頼回復に向け、全職員一丸となって努力してまいりますとともに、再発防止に全力で取り組んでまいります。

以上で、議案第67号の説明を終わらせていただきます。御審議のほどよろしく願いいたします。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

○議長（鶴瀬 和博君） これから質疑を行います。質疑ありませんか。牧永護議員。

○議員（14番 牧永 護君） 芦辺小学校改築工事設計業務については、監査委員の報告、市長の報告等ありました。私は、議会として総務委員会で調査すると言われておりましたので、市民にもそういうふうに伝えております。総務委員会で調査された報告を、総務委員会から報告を受けて採決に臨みたいと思いますし、一考願いたいと思います。

○議長（鶴瀬 和博君） ほか、質疑ありませんか。音嶋正吾議員。

○議員（4番 音嶋 正吾君） 条例の提案趣旨は市長のほうからございましたんで申し上げますが、代表監査委員から重大な発言がございました。確認申請の提出をされたのは4月11日というふうに報告をされましたね。前回、私は教育総務課長に確認をいたしました。これも議事録に載っております。5月12日と私には報告を受けております。県は、これは何で確認されたか、私は明確に示していただきたいなと思うんですね。食い違いがございました。県に申請が出されません。申請の主は壱岐市長、白川博一氏であります。そして、35日間したら回答を出さなければなりません、審査をする過程が。それで、ここで申し上げます。どうも5月、私は、12日のほうが正解ではないかなというふうな感じがあります。消防署に確認申請書が行ったのは5月19日であります。余りにも4月11日からすると、そこまで県はストップはかけないんじゃないかと。要するに、申請者の側に瑕疵があった場合は、その期間は35日以内にカウントしないということは、これは県のほうからお聞きをしております。この4月の11日と5月の12日、約1カ月間のずれがあります。これはどちらが本当なのか。そこら辺をひとつ監査委員のほうで精査をしていただきたいと。そうしないと、ちょっと審議がしにくいというふうに考えております。

以上です。

○議長（鶴瀬 和博君） 吉田代表監査委員。自席からでいいです。

○代表監査委員（吉田 泰夫君） ただいまの質疑に御回答を申し上げます。

一応書類等の確認は万全にしておりますませんが、状況調査の中で口頭の証拠として採用しており

ますので、そのところは再度確認をいたしてみたいと思いますので、よろしくお願いを申し上げます。

○議長（鵜瀬 和博君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鵜瀬 和博君） 質疑がありませんので、これで質疑を終わります。

お諮りします。議案第67号については、会議規則第37条第2項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鵜瀬 和博君） 異議なしと認めます。よって、議案第67号については……。〔発言する者あり〕失礼いたしました。牧永議員の質疑に対して、理事者の答弁を求めます。白川市長。

○市長（白川 博一君） 消防設備工事の入札については、議会総務文教厚生常任委員会の調査が完了しているけれども、芦辺小学校校舎改築工事設計業務については、議会の調査が終わっていない、処分決定するのは時期尚早ではないか、調査はどのように行ったのかという御質問でござります。芦辺小学校校舎改築工事設計業務につきましては、議会総務文教厚生常任委員会の調査が始まっておりませんが、監査委員から平成27年度一般会計特別会計決算審査に基づく審査報告が行われ、審査意見をいただいておりますので、今回の2事案について、決算審査に基づく審査意見を参考に、独自調査を文言懲戒審査委員会事務局で行いまして、関係職員に対する聞き取り調査、8月12日と8月18日に両日行っておるわけでございますけれども、及び、資料請求の結果を文言懲戒審査委員会で報告し、審査を行ったところであります。

○議長（鵜瀬 和博君） 牧永議員。

○議員（14番 牧永 護君） 私がお聞きしてるのは、市長の答弁じゃなくて、議会として調査がまだ十分になってないのに、この案件を採決していいのかということで議会のほうに申し上げております。

○議長（鵜瀬 和博君） それは、牧永議員、動議ということで。

○議員（14番 牧永 護君） はい。動議と言いませんでした。動議と訂正します。

○議長（鵜瀬 和博君） ただいま牧永議員のほうから採決につきまして、総務文教厚生常任委員会の報告を受けて採決するほうが望ましいのではないかという動議が提出をされました。賛成者、どなたかいらっしゃいますか。

〔賛成者挙手〕

○議長（鵜瀬 和博君） この動議は、1人以上の賛成がありますので、成立をいたしました。

それでは、ただいまの牧永議員の動議に対しまして、質疑を受けたいと思います。質疑ありませんか。6番、町田正一議員。

○議員（6番 町田 正一君） 実は、議会運営委員会でも、今、牧永議員と同じようなことを私も執行部に対して質問したんですが、基本的に懲戒権が、懲戒権は別に議会は、職員の懲戒権というのは議会には付与されておりません。特別職の、市長に対する不信任とか、そういうことに対してはあるんですが、例えば、これで議会ができることは、これはもうちょっと余りにも軽過ぎるとか、そういうことでその議案が否決されるとか、可決されるとか、そういうことは議会ができるわけですが、基本的に懲戒権が議会が付与されていない以上、執行部が提案される事案については、議会は可決するか、否決するかのどちらかでしかないと思って、この前の議会運営委員会でも、そここのところはきちんと市長のほうからなぜこういう経過で説明されたかと、懲戒に至った理由をきちんと議会で述べて、その中で採決を求めるようにという形に、今回、議会運営委員会として提案させて、議会運営委員会としてはそのように結論を出しております。

また、引き続きこの総務委員会でも、きょうも含めて、早速この調査のほうに入るわけですが、基本的には、その事案が非常に、財務規則に関して違反であるとは、もう基本的に懲戒しておるわけですから、財務規則に基本的に違反してるのは間違いないということで懲戒されたんだと私も考えております。あとは、その懲戒の処分がどのくらい妥当かどうかということだけを議会は審査決定すればいいだけだと私は思っておりますので、その調査とこの懲戒については、議会はここで、僕は採決して結構だと思っております。

○議長（鶴瀬 和博君） 音嶋議員。

○議員（4番 音嶋 正吾君） 私は、このいわゆる条例、議案を提案するに至ったその根本というのを正すのが、議会としての本来の使命であると思います。議決は当然せねばいけません。そして、いわゆる懲罰委員会ですかね。市長もその教育委員会の意見を受けて、こうして条例を提案をされております。なぜこの条例を上程されたのか、その根本は何ら明らかにされていないと私は思います。十分その結果を踏まえた上で、我々は採決をすべきではないかと考えておるわけでありまして。今お尋ねをいたしましたところ、監査委員からの指摘において、その重みを感じ、こうした条例制定に至ったというようなことでありましたので、議会としても独自で調査する必要があるというふうに私は考えております。

○議長（鶴瀬 和博君） 白川市長。

○市長（白川 博一君） 音嶋議員がおっしゃった、どうしてこの条例を出したのかと。それは、先ほど申しますように、条例で教育長の給料が決まっているから、それを減額するには条例を制定しなければいけないと、この理由でございます。まずそのことを御説明を申し上げまして。

それから、先ほど町田議員おっしゃいましたように、処分の権限は私にございます。処分をいたしました。しかし、処分いたしましたけれども、その処分書を、まあこれ教育委員長が執行をしたわけでございますけれども、条例がないのに、その処分書は効力を有さないわけございま

す。したがって、10分の1の3カ月を処分するという処分書を、辞令を教育委員長が教育長に交付いたしました。しかし、この条例が可決されなければ、教育長の給与を減額することができないわけでございます。どういたしましょうか。私たちはこのようにしたいと思っておりますけど、条例をつくってくれないか、いただけませんかということではないわけです。処分いたしました。つきましては、ある意味、追認のような形になりますけれども、条例でそのことをお認めくださいというのが今回の条例提出の理由でございます。どうぞ議員の皆様には御理解をいただきまして、可決をいただきますようお願いを申し上げます。

○議長（鶴瀬 和博君） ただいま、ちょっと議事が交差をしております。今は、この議案に対しての音嶋の質問に対しての答弁を白川市長が答えていただいたと。今は、採決延長の動議が、今、牧永議員から提出をされまして、その内容につきまして質疑を受けております。牧永議員の動議に対して質問ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鶴瀬 和博君） それでは、牧永議員の採決延長の動議につきまして、この議案に関係することでございますので、直ちに日程に追加をさしていただいて、採決延長の動議を議題としたいと思います。

それでは、反対討論、討論ありませんか。

それでは、ここで暫時休憩をします。

午後2時03分休憩

.....

午後2時22分再開

○議長（鶴瀬 和博君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案審議を続けます。

採決延長の動議を議題としておりますので、これから討論を。討論ありませんか。11番、中田恭一議員。

○議員（11番 中田 恭一君） 私は採決延長の議案に対しまして、反対の意見として討論をいたします。

今出されております教育長の処分については、処分の権限は執行部がといますか、市長にあるわけございまして、処分は処分として執行部でやっていただいて、この内容については、議会としてまだまだ調査する必要があると思っておりますので、総務委員会なり、ほかの委員会でもいいですから、とにかく原因等追求して、二度ととはいいません。一度、二度起こっておりますので、三度、四度と同じことが繰り返さないように、議会としては十分調査をして、執行部への提言をするべきと思っておりますので、処分は処分として執行部にやっていただき、我々は我々として

我々の立場で調査をして、その旨、執行部へするのが筋ではないかと思っておりますので、延期ではなく、本日、決をとったらよろしいと思っております。

○議長（鵜瀬 和博君） 賛成討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鵜瀬 和博君） ほか、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鵜瀬 和博君） 討論なしと認めます。

この採決は、起立によって行います。この動議のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（鵜瀬 和博君） 起立少数です。したがって、採決延長の動議は否決されました。

引き続き、議案第67号に移ります。議案第67号については、会議規則第37条第2項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鵜瀬 和博君） 異議なしと認めます。よって、議案第67号については委員会付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鵜瀬 和博君） 討論なしと認めます。

これより起立によって採決します。決定することに賛成の方は御起立をください。

〔賛成者起立〕

○議長（鵜瀬 和博君） 起立多数です。よって、議案第67号壱岐市教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の制定については、原案のとおり可決されました。

ここで、久保田教育長から発言の申し出がっておりますので、これを許します。久保田教育長。

〔教育長（久保田良和君） 登壇〕

○教育長（久保田良和君） 大変御迷惑をおかけしております。教育委員会の事務局を預かる長としての管理監督の不行き届きが招きました今回の不適正な事務処理について、深く反省をするとともに、心よりお詫びを申し上げます。今後は教育委員会の業務が適正に遂行できますよう、職員のモラルを高めるためにも、私自身が気持ちを引き締めて研さんに努める覚悟でございます。今回のような不手際を再び起こさないよう、職員と力を合わせて教育委員会業務の信頼回復に努めてまいります。議会を初め、市民の皆様にご迷惑をおかけしたことを改めてお詫びを申し

上げながら、決意とさせていただきます。御迷惑をかけました。

〔教育長（久保田良和君） 降壇〕

日程第29. 要望第1号～日程第30. 要望第2号

○議長（鵜瀬 和博君） 日程第29、要望第1号壱岐・唐津30Kmの海底送電線の早期着工の要望及び日程第30、要望第2号男岳神社駐車場トイレの新設についての要望の2件を議題とします。ただいま上程しました要望第1号及び要望第2号につきましては、お手元に写しを配付しておりますので、説明にかえさせていただきます。

○議長（鵜瀬 和博君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

次の本会議は、9月7日水曜日午前10時から開きます。

市民の皆様におかれましては、台風12号が近づいております。台風情報に十分注意をされまして、早めに接近に備えてくださいますようお願い申し上げます。

本日はこれで散会いたします。お疲れさまでした。

午後2時28分散会